

東日本大震災
避難者アンケート調査
集計結果

令和6年9月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

I 調査の概要

- 1 調査の目的 - 1 -
- 2 調査項目 - 1 -
- 3 調査設計 - 1 -

II 調査結果

【回答者について】

回答者の性別、年齢、避難先の市町村 - 2 -

1 世帯の現状について

(1) 避難元の県・市町村、避難の理由 - 3 -

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類 - 4 -

2 山形での生活について

(1) 「困っていること、不安なこと」について - 8 -

(2) 避難者支援に関する情報で希望する内容について - 9 -

3 今後の生活について

(1) 今後の予定について - 10 -

(2) 避難期間の見通しと帰還について - 11 -

(3) 山形県内への定住について - 13 -

4 心身の健康について

(1) 心身の不調について - 16 -

(2) 心身の健康に関する要望について - 17 -

5 教育や子育てについて

(1) 教育や子育てで困っていること、不安なことについて - 18 -

(2) 教育や子育てに関する要望について - 19 -

6 高齢者の生活について

(1) 高齢者の生活で困っていること、不安なことについて - 20 -

(2) 高齢者の地域活動等への参加意欲について - 21 -

7 相談支援機関と相談交流について

(1) 相談支援機関の利用状況 - 22 -

(2) 相談支援機関への相談について - 23 -

(3) 戸別訪問について - 24 -

(4) 相談交流の参加状況 - 25 -

8 県内で行っている避難者支援について

(1) 山形県内での支援に対する評価 - 27 -

(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について - 28 -

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの - 29 -

(4) 今後実施してほしい避難者支援事業 - 30 -

9 自由記入欄

(1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと - 31 -

(2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと - 31 -

(3) その他、日頃から感じていることなど - 31 -

III 参考資料

アンケート調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

東日本大震災から13年が経過しましたが、現在も約1,200人の方々が本県での避難生活を続けています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として、アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 心身の健康について
- (5) 教育や子育てについて
- (6) 高齢者の生活について
- (7) 相談支援機関と相談交流について
- (8) 県内で行っている避難者支援について

3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている377世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
(同封した返信用封筒又は「やまがたe申請」により回収)
- (4) 調査期間 : 令和6年6月中旬～7月下旬
- (5) 回答数 : 86世帯 (回収率:22.8%)
※参考 令和5年度は425世帯に送付し、回収は103世帯 (回収率24.2%)

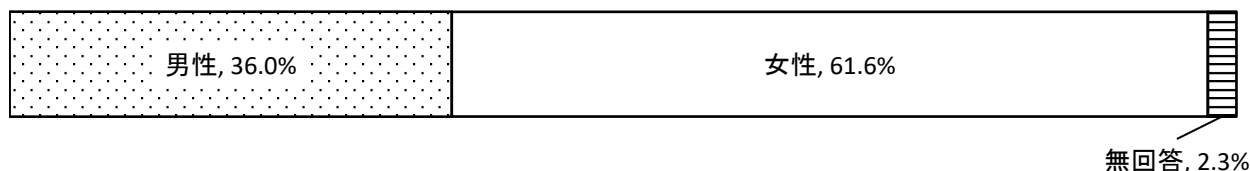
※ 注意点

- (1) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 1つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。
- (3) データ数(n)の記載がない場合は、アンケートの回答数をデータ数としています。
(R6はn=86、R5はn=103、R4はn=116、)

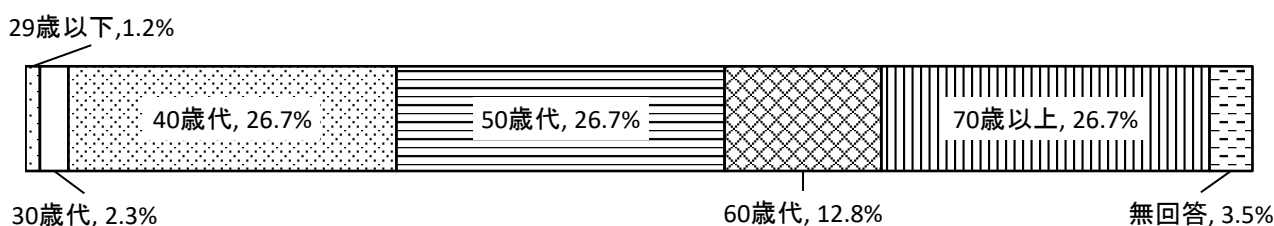
Ⅱ 調査結果

【回答者について】

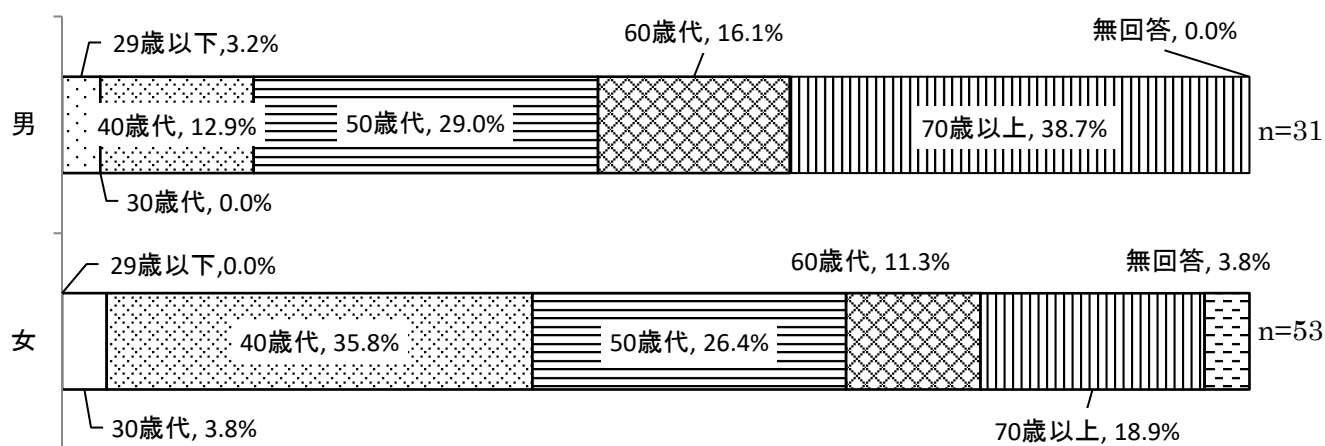
性別



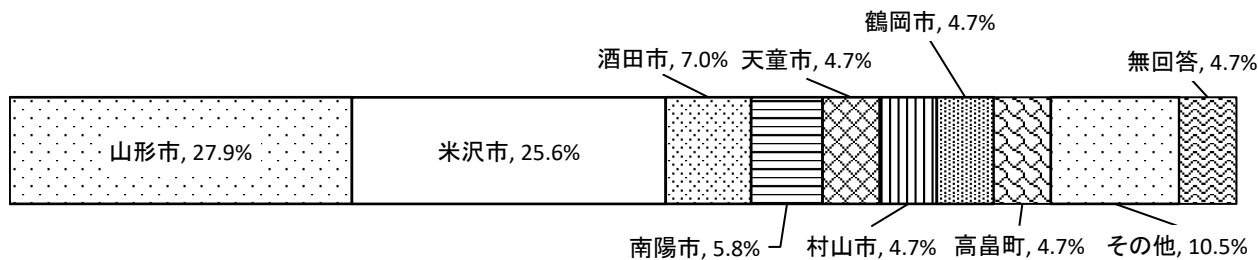
年齢



男女別年齢



避難先の市町村



回答者の性別は、男性が 36.0%、女性が 61.6%、無回答が 2.3%となっています。

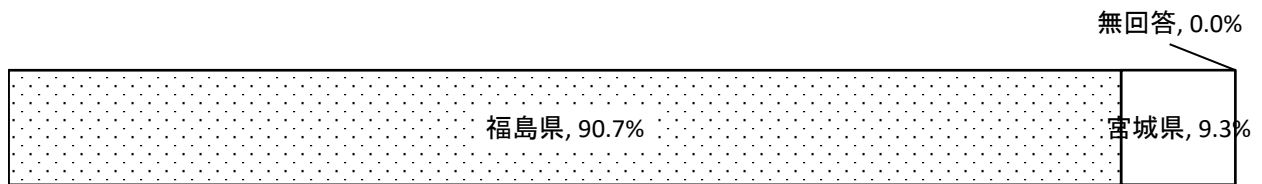
年齢別では多い順から、40歳代、50歳代と70歳以上が同率で26.7%、60歳代が12.8%で、男女別に見ると男性は70歳以上が38.7%、女性は40歳代が35.8%で最も多くなっています。

避難先の市町村は、山形市が27.9%と最も多く、次いで米沢市、酒田市となっています。

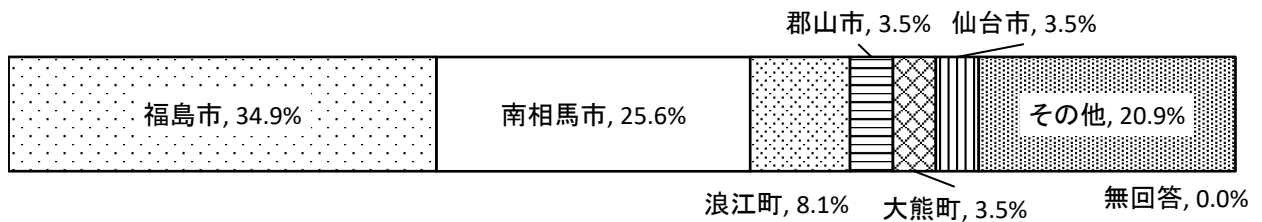
1 世帯の現状について

(1) 避難元の県・市町村、避難の理由

避難元の県

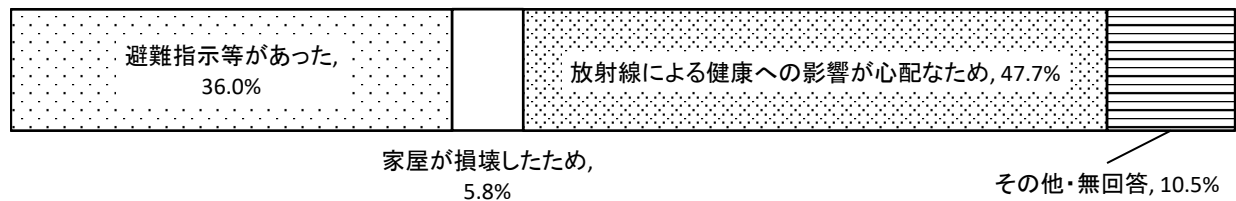


避難元の市町村



避難元については、福島県が90.7%、宮城県が9.3%でした。市町村別では、福島市が最多、次いで南相馬市、浪江町の順となっています。

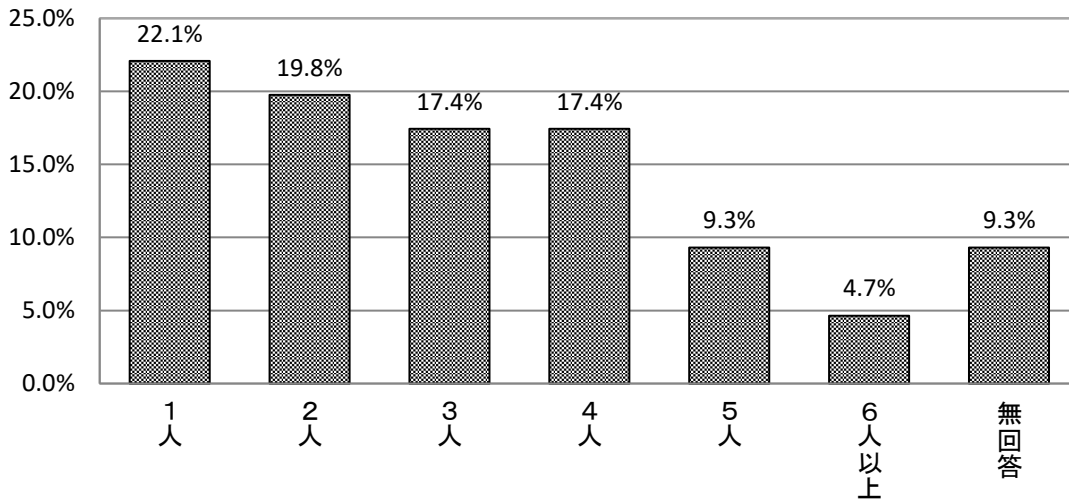
避難の理由



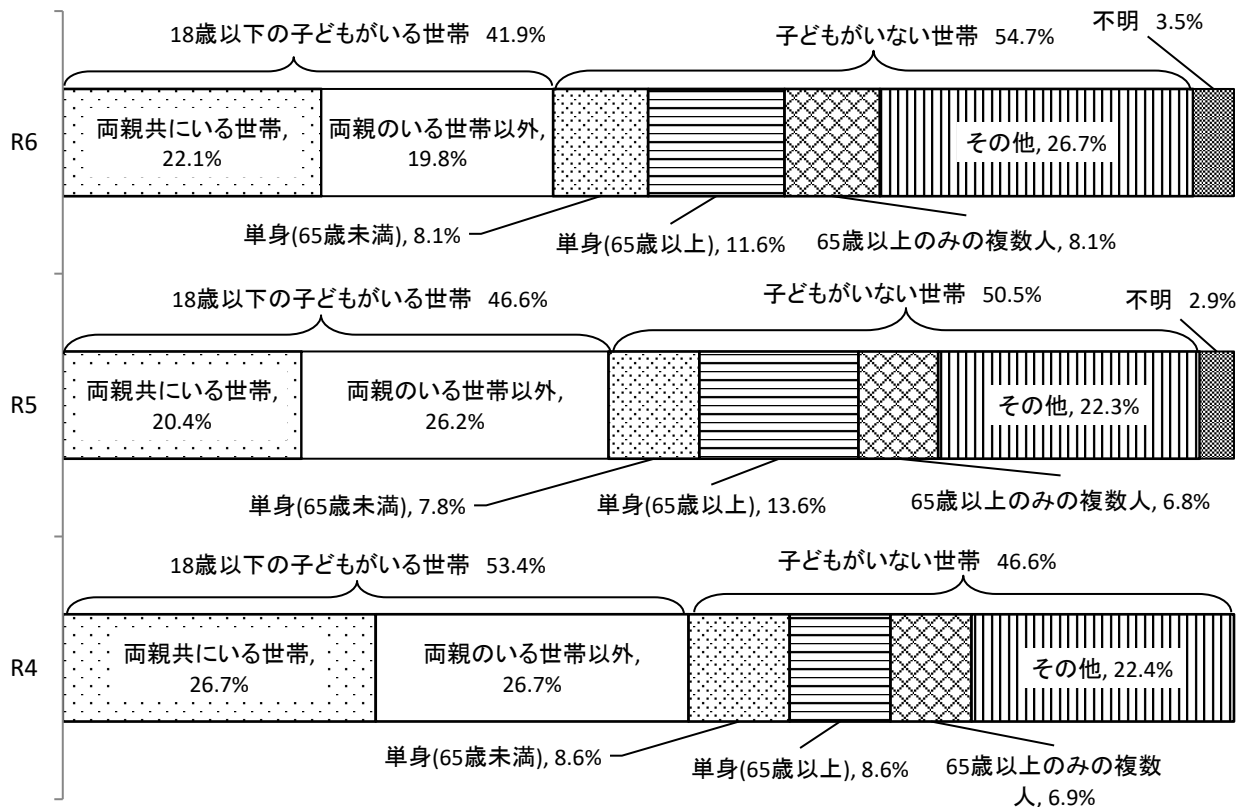
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が47.7%と最も多く、次いで「避難指示等があった」36.0%、「その他・無回答」10.5%となっています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

家族の人数

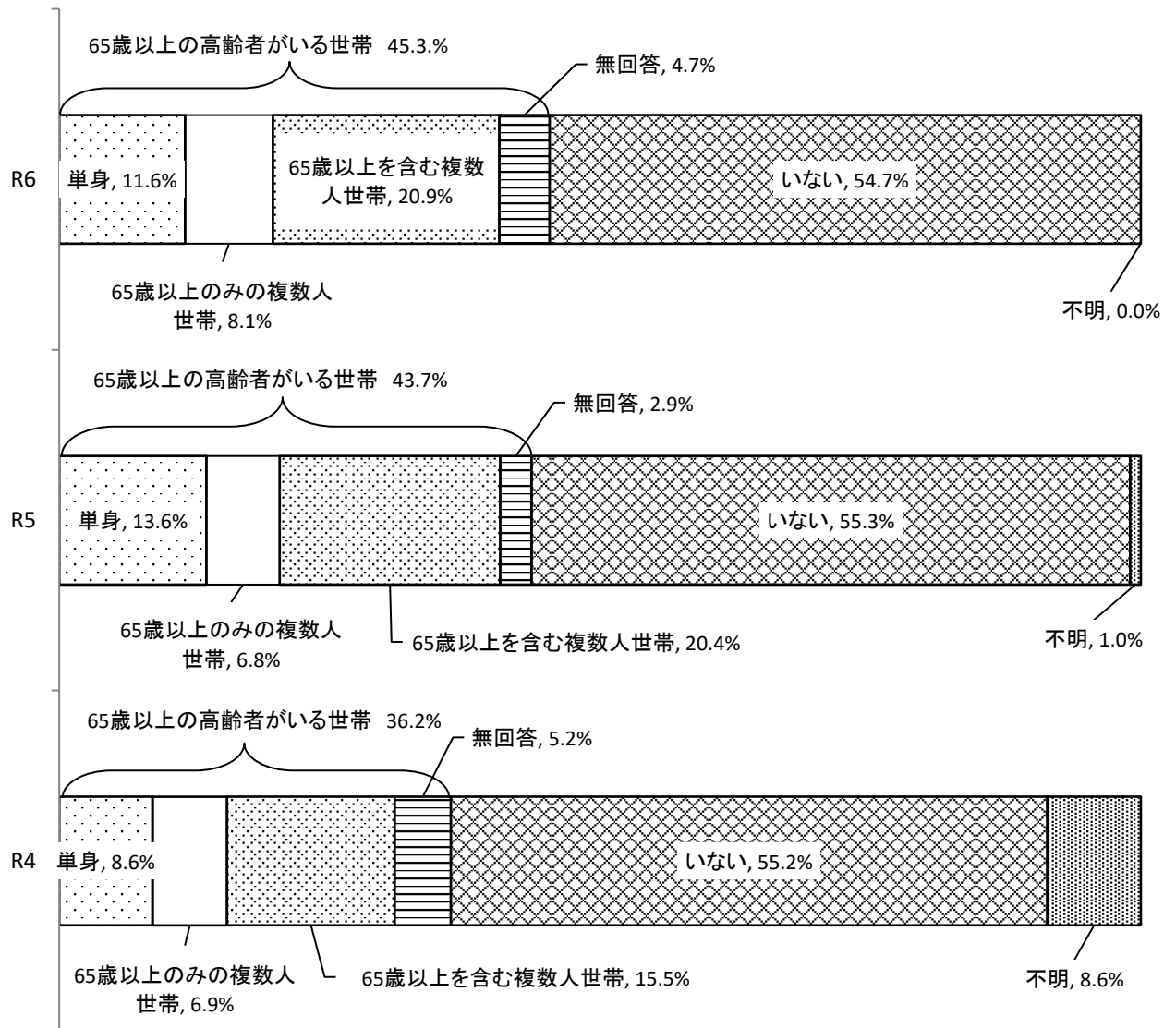


家族の構成(18歳以下の子どもの有無)



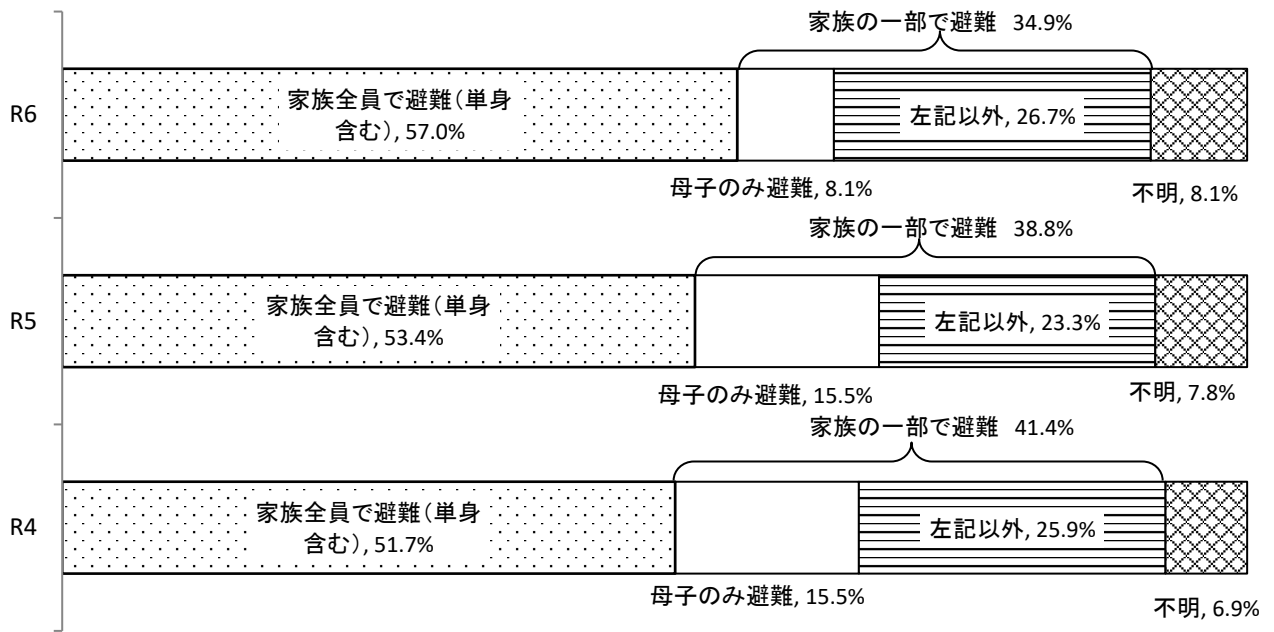
家族の構成は、単身が最も多く、1～3人家族が全体の約6割を占めています。18歳以下の子どもがいる世帯は41.9%、子どもがいない世帯は54.7%となっています。

家族の構成(65歳以上の高齢者の有無)

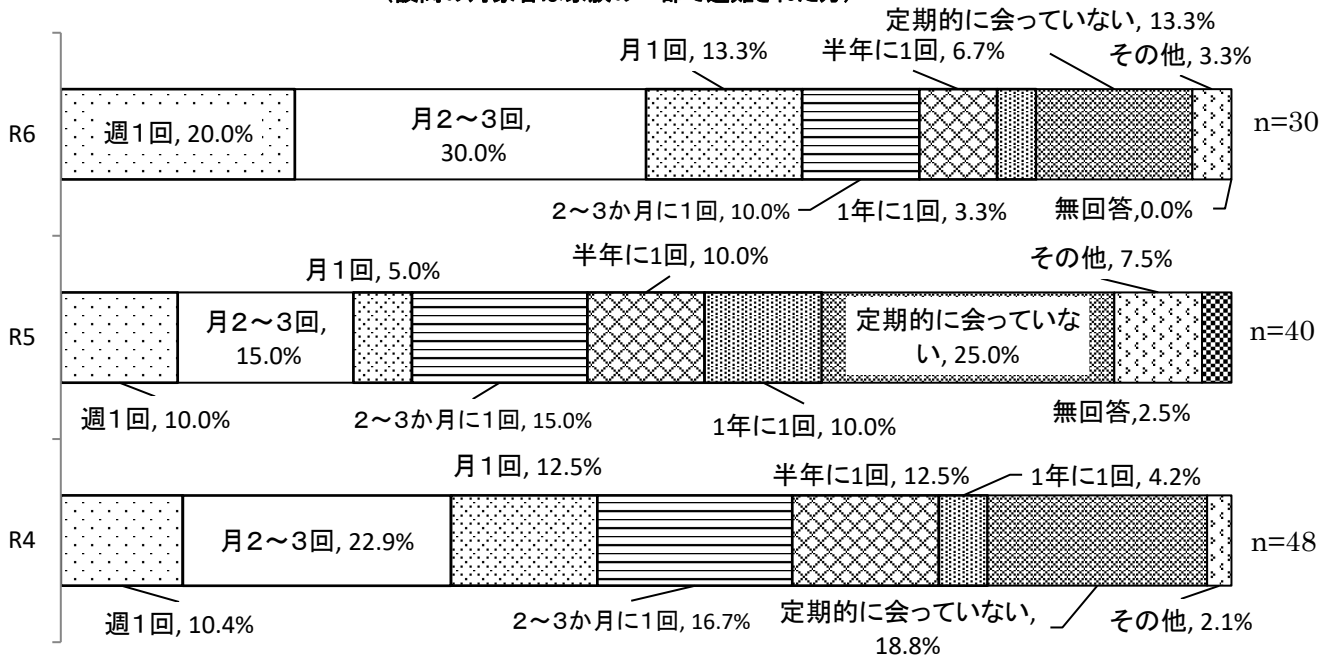


65歳以上の高齢者のいる世帯は45.3%となっており、うち単身者は11.6%、65歳以上の高齢者のみの複数人世帯は8.1%、65歳以上を含む複数人世帯は20.9%となっています。

避難の状況



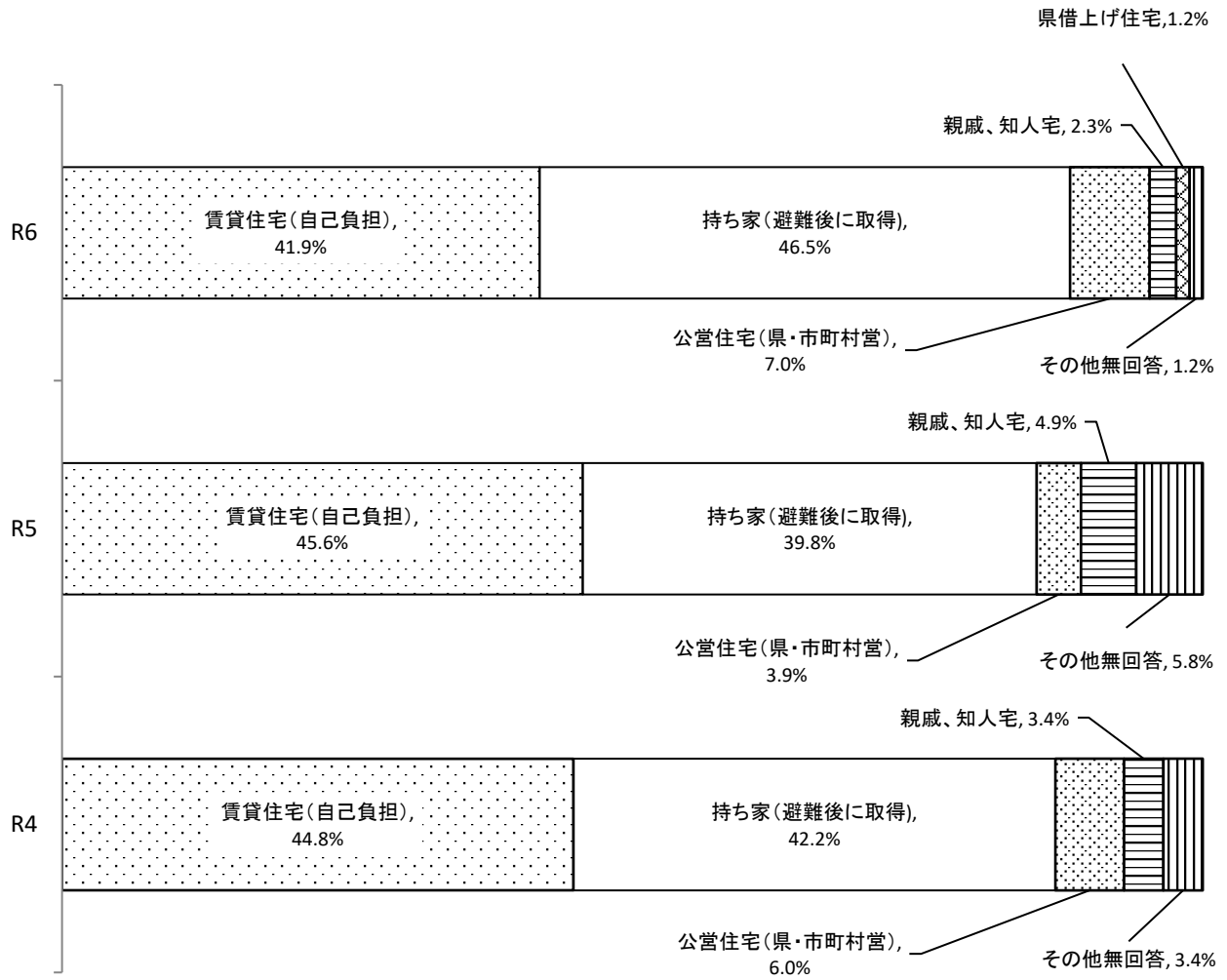
避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)



避難の状況は、家族全員で避難している世帯が 57.0%、家族の一部で避難している世帯が 34.9% となっており、うち家族と離れて母子のみで避難している世帯は全体の 8.1% となっています。

家族の一部で避難された方のうち、避難元の家族と会う頻度が月 1 回以上の世帯は全体の約 6 割 となっています。

避難している住宅の種類



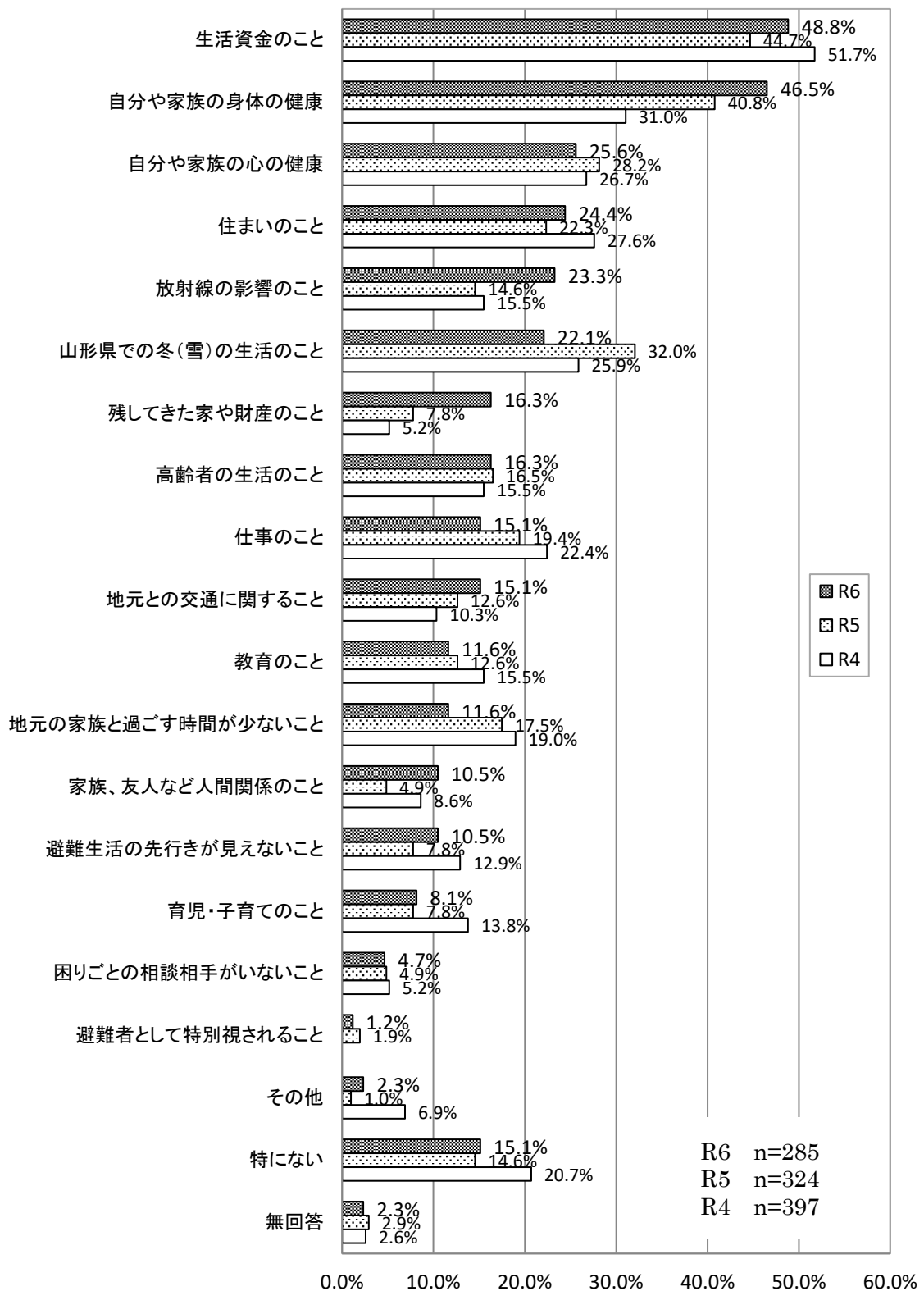
避難している住宅の種類は、多い順から「持ち家（避難後に取得）46.5%、「賃貸住宅（自己負担）」41.9%、「公営住宅（県・市町村営）」で7.0%となっています。

※平成29年3月で、避難指示区域以外の避難者への借上げ住宅の供与が終了

2 山形での生活について

(1) 「困っていること、不安なこと」について

今の生活で困っていること、不安なこと(5つまで)



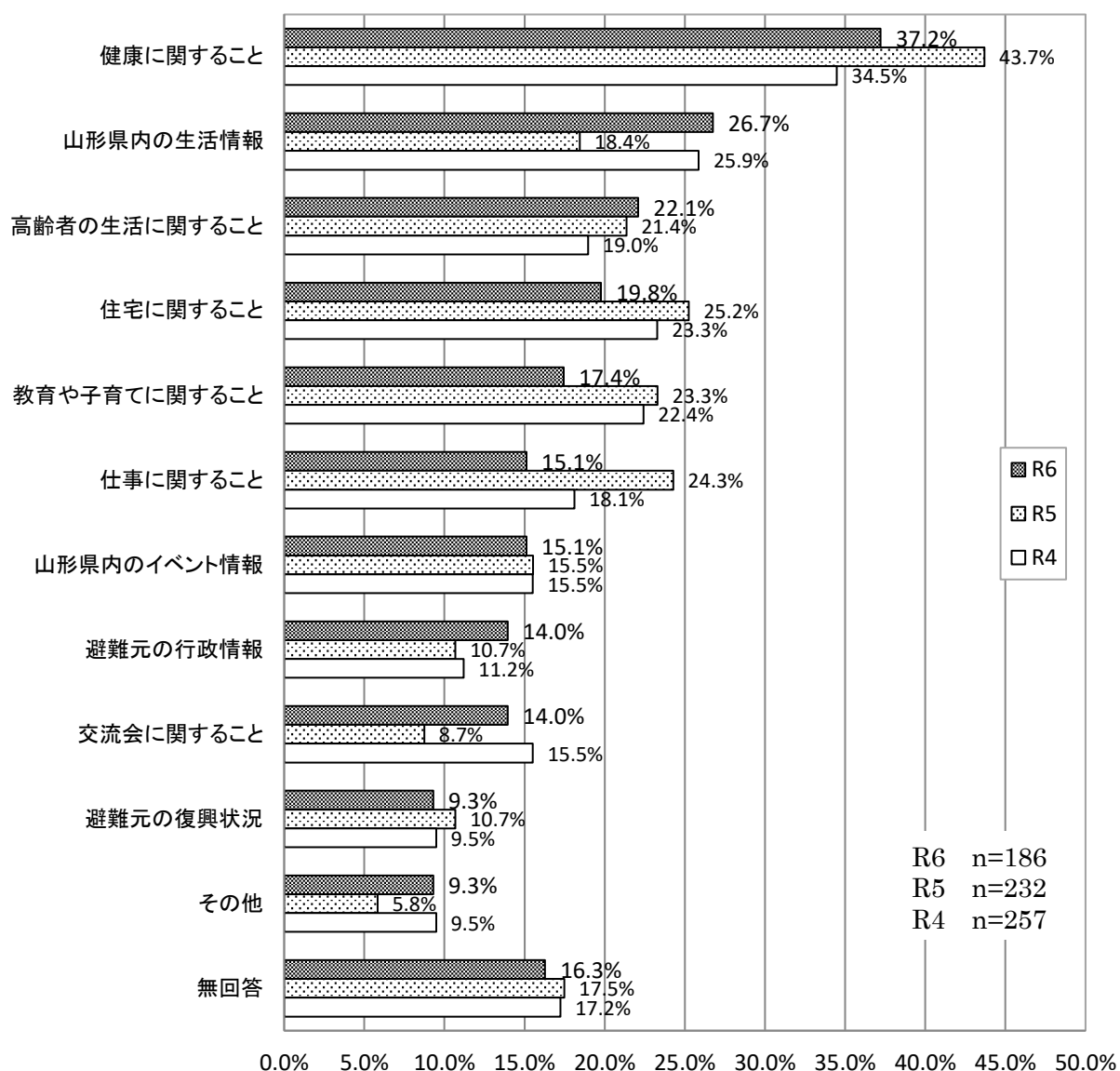
今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が48.8%と最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康」46.5%、「自分や家族の心の健康」25.6%の順となっています。

一方、「特にない」は15.1%となっています。

※「避難者として特別視されること」は令和5年度の新規項目

(2) 避難者支援に関する情報で希望する内容について

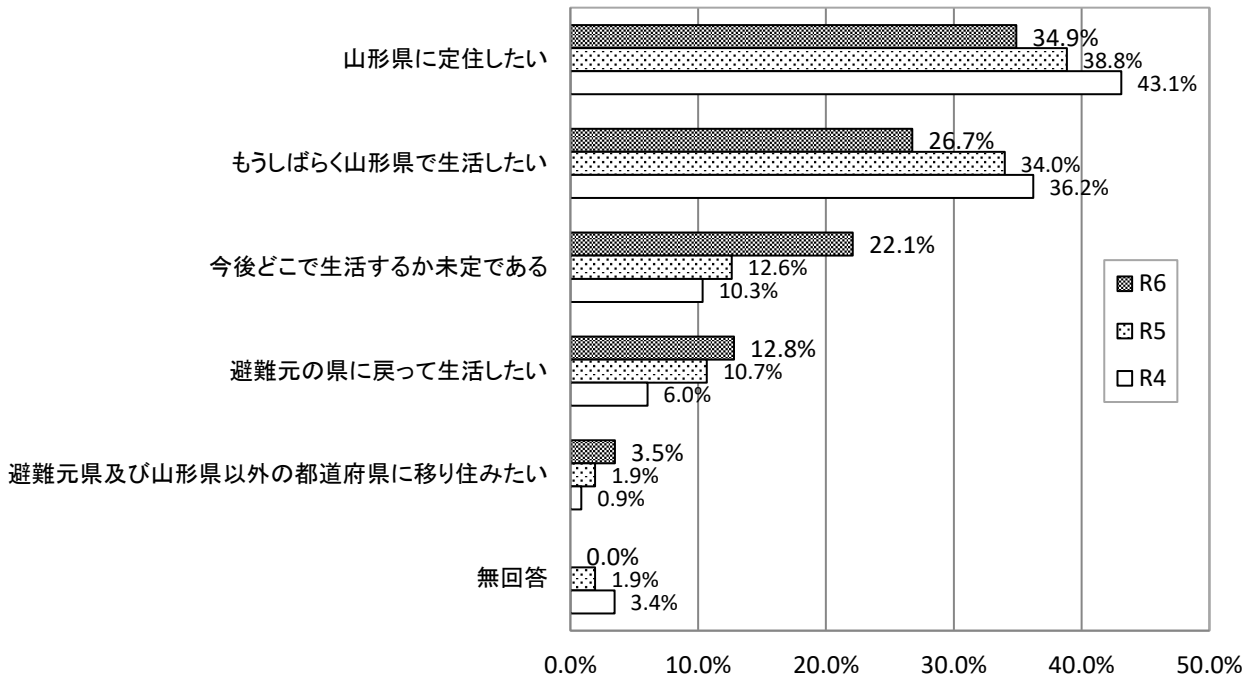
避難者支援に関する情報で希望する内容(複数回答)



避難者支援に関する情報で希望する内容は、「健康に関すること」が37.2%と最も多く、次いで「山形県内の生活情報」、「高齢者の生活に関すること」、「住宅に関すること」の順となっています。

3 今後の生活について
 (1) 今後の予定について

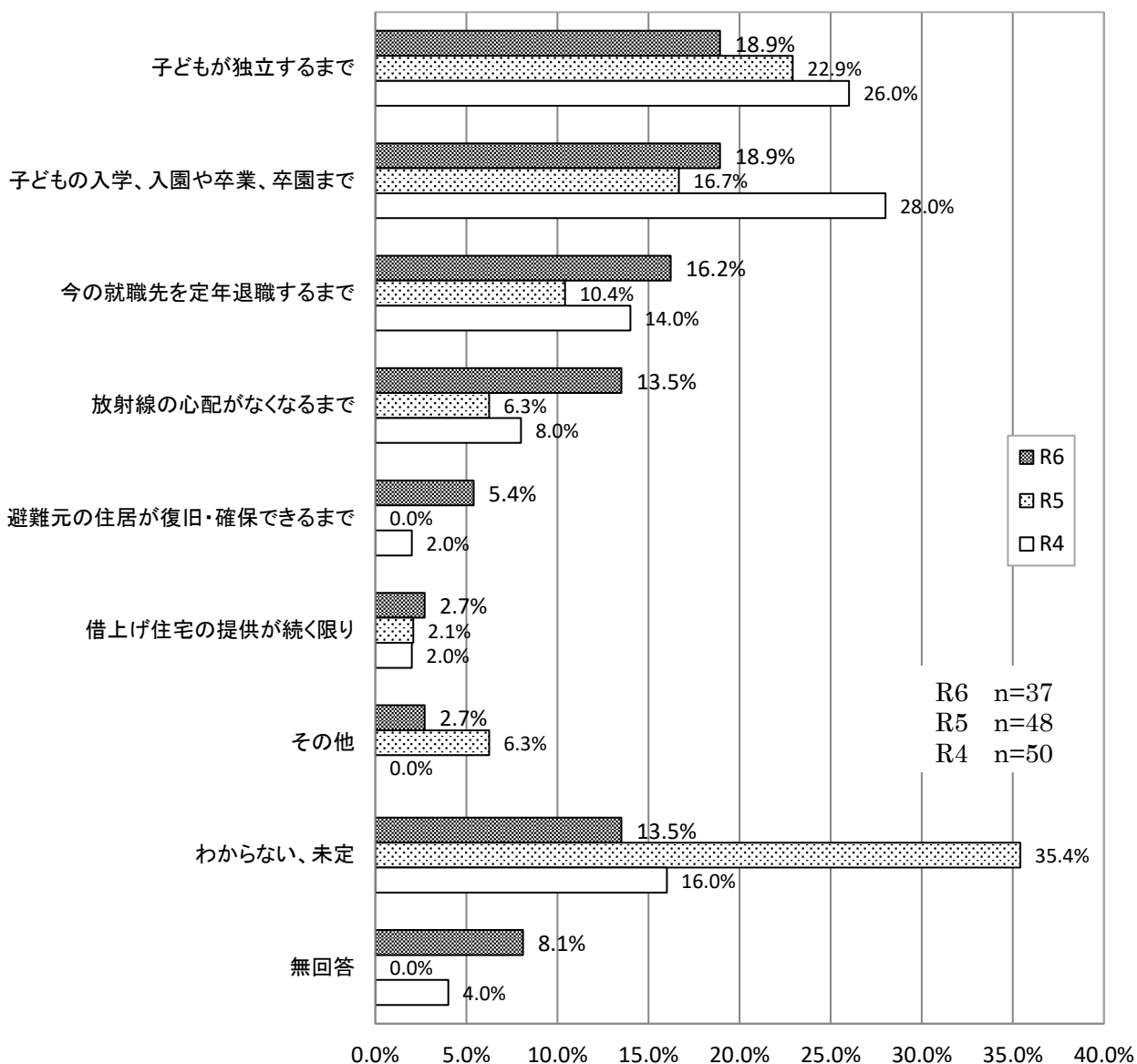
今後の予定



今後の予定について、「山形県に定住したい」が34.9%、「もうしばらく山形県で生活したい」が26.7%となっており、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が約6割となっています。一方、「今後どこで生活するか未定である」は22.1%と増加傾向にあります。

(2) 避難期間の見通しと帰還について

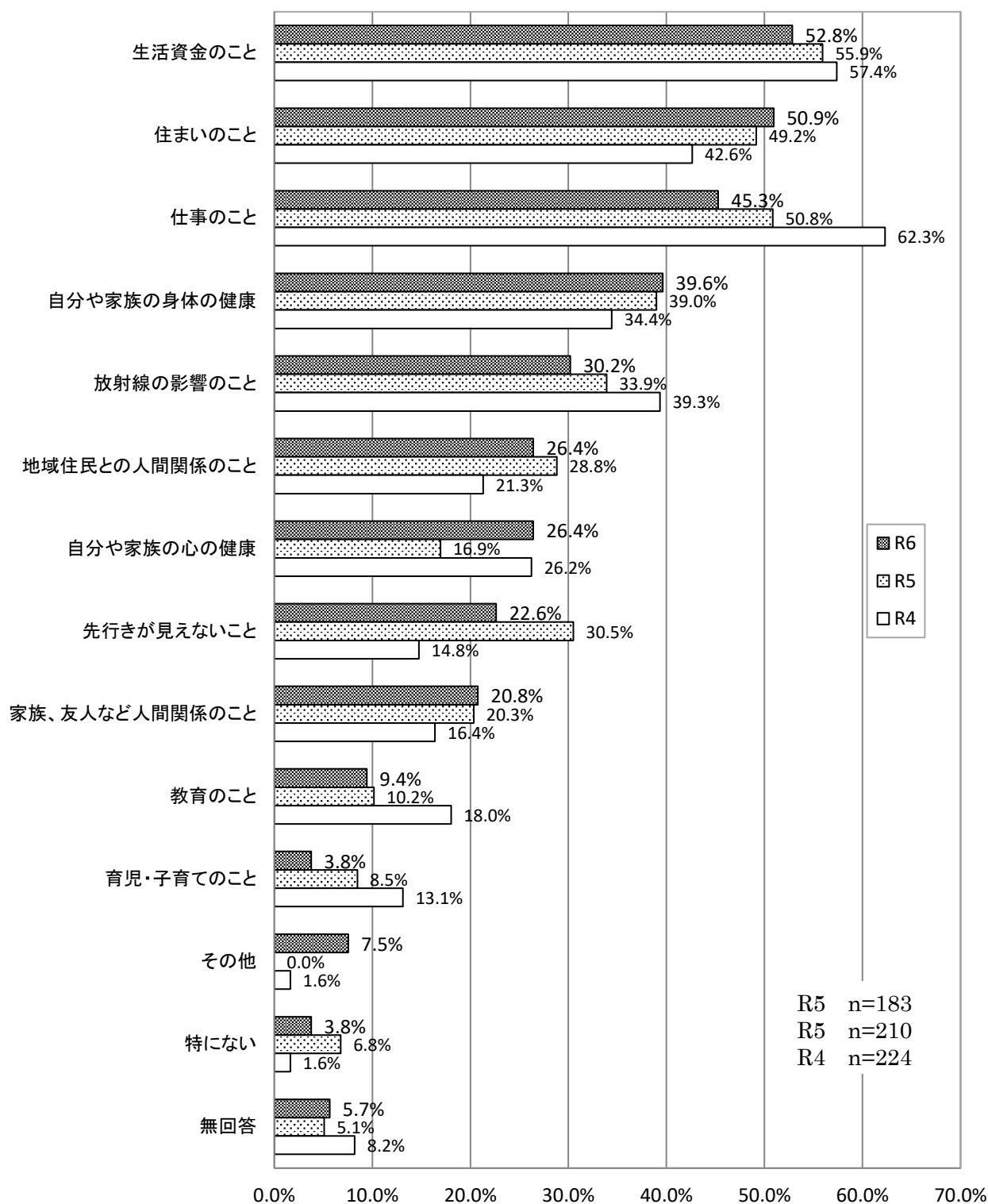
山形県内での避難期間の見通し



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子どもが独立するまで」と「子どもの入学、入園や卒業、卒園まで」が同率で18.9%、次いで「今の就職先を定年退職するまで」が16.2%となっております。

一方、「わからない、未定」は13.5%となっております。

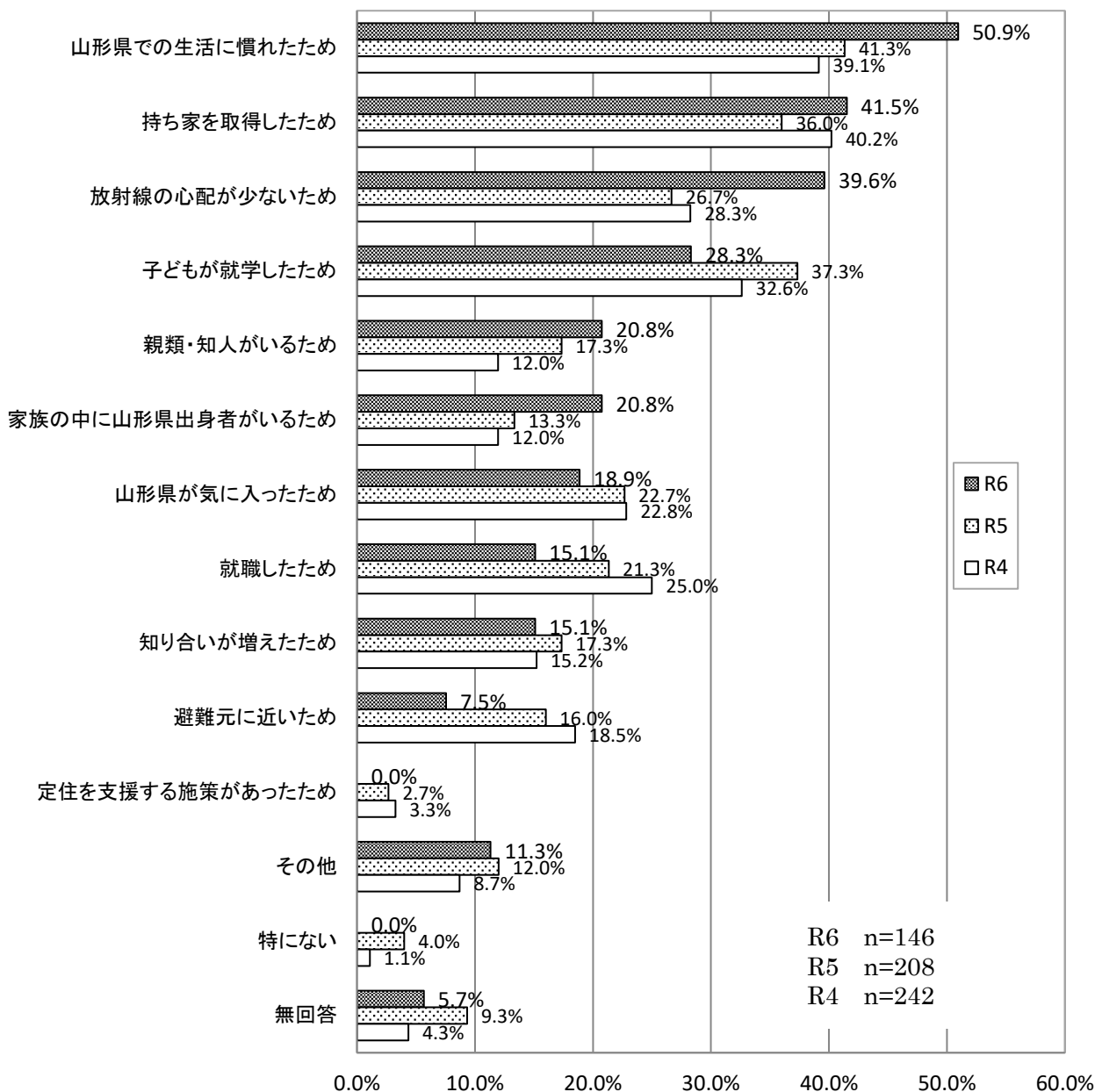
避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方が、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「生活資金のこと」と答えた方が52.8%と最も多く、次いで「住まいのこと」、「仕事のこと」の順となっています。

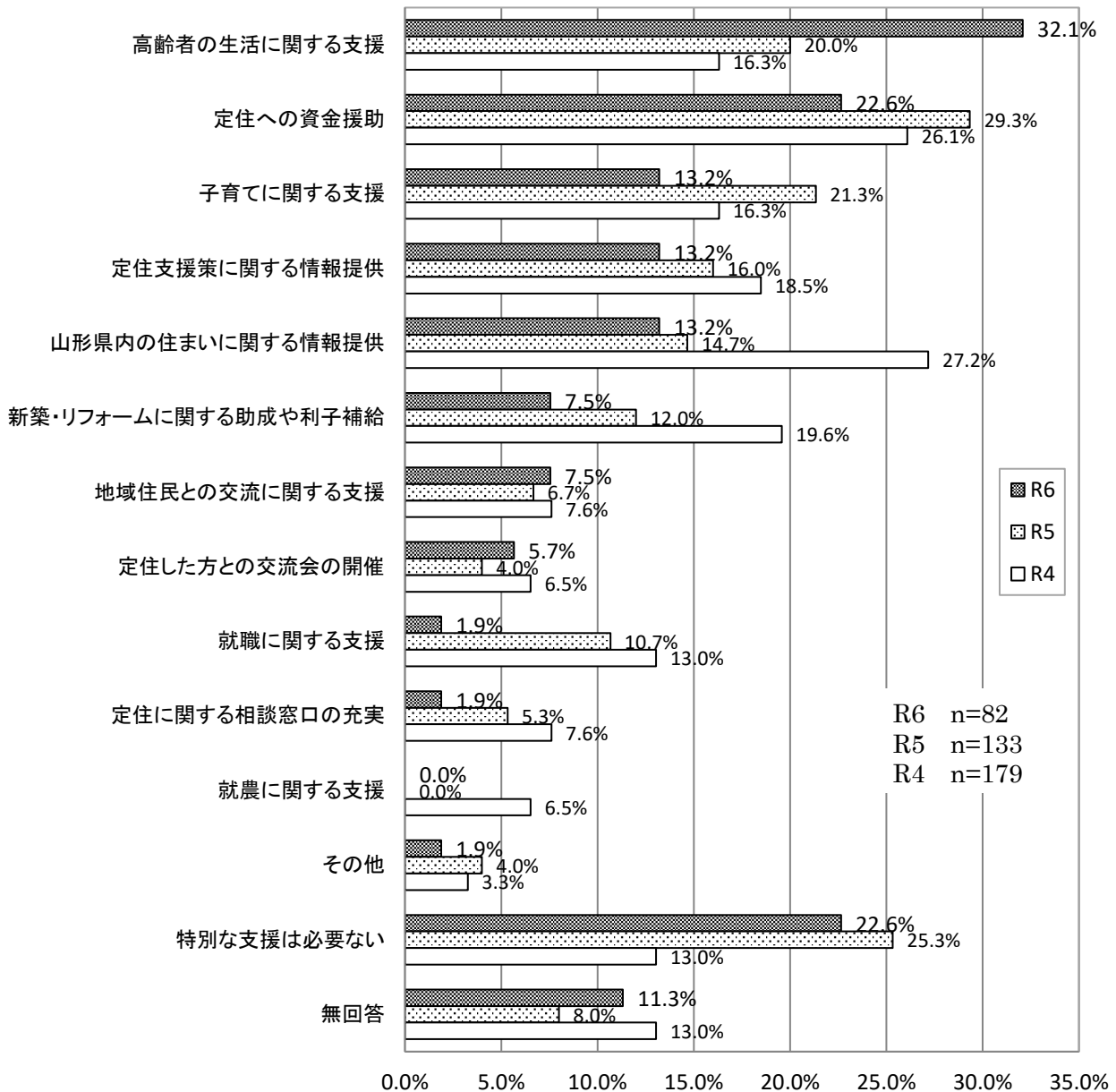
(3) 山形県内への定住について

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由
(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「山形県での生活に慣れたため」が50.9%と最も多く、次いで「持ち家を取得したため」、「放射線の心配が少ないため」の順となっています。

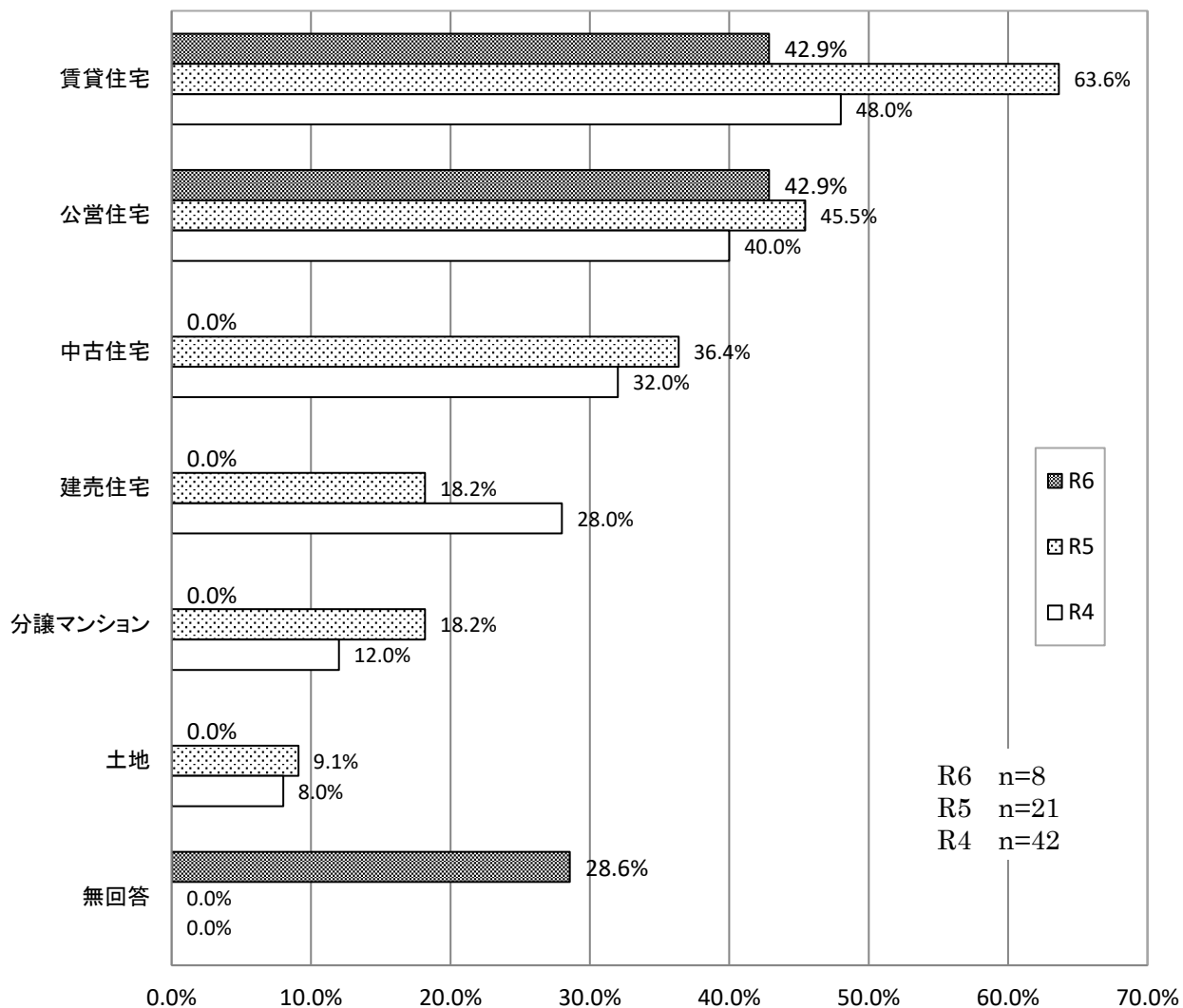
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する支援は、「高齢者の生活に関する支援」が32.1%と最も多く、「定住への資金援助」が続き、次いで「子育てに関する支援」と「定住支援策に関する情報提供」が同率となっています。

一方、「特別な支援は必要ない」は22.6%となっています。

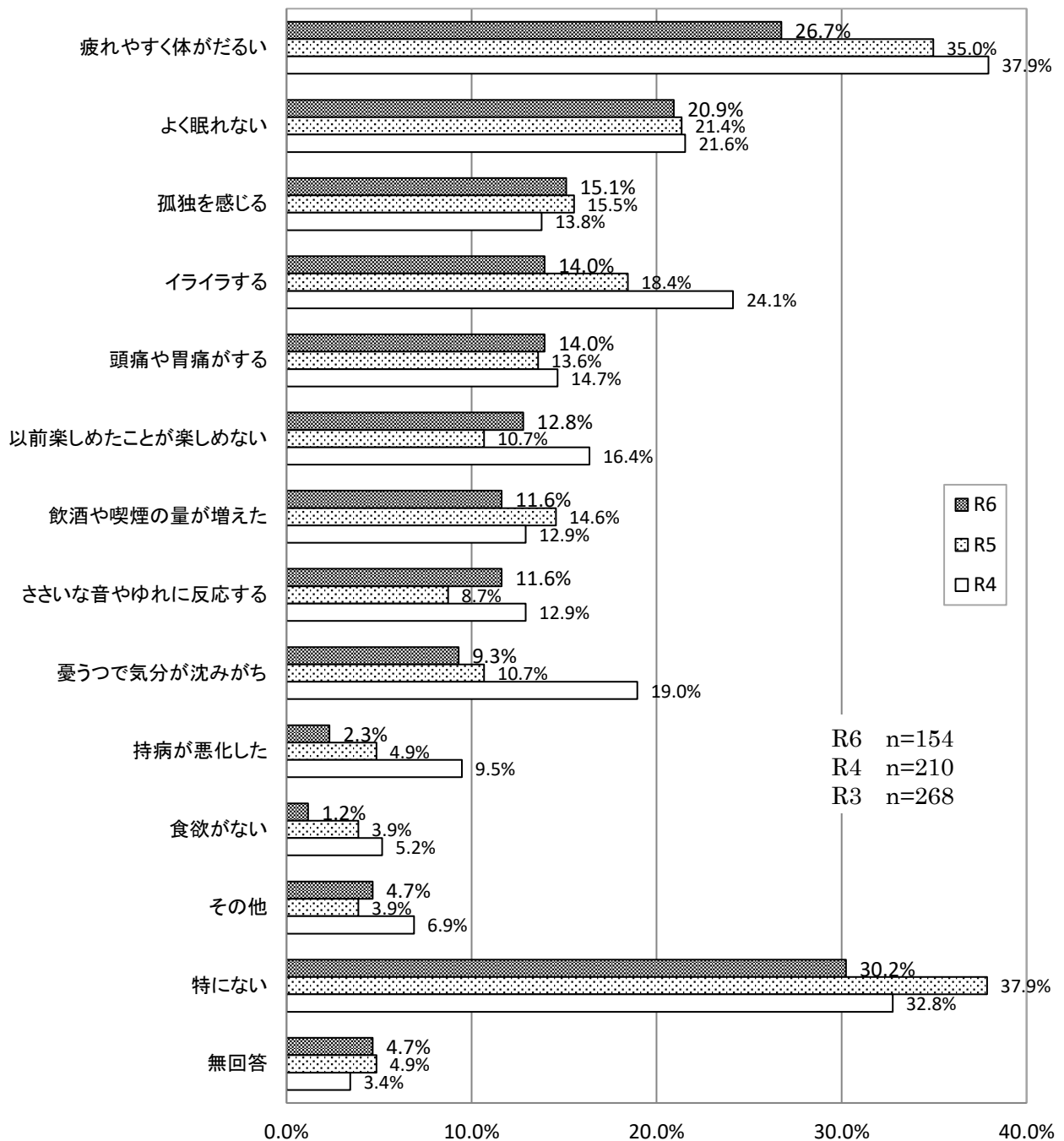
山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)



希望する支援について、「山形県内の住まいに関する情報提供」と答えた方の「必要な情報は何か」の問いに対する回答は、「賃貸住宅」、「公営住宅」が同率で42.9%となっています。

4 心身の健康について
 (1) 心身の不調について

心身の不調について(複数回答)

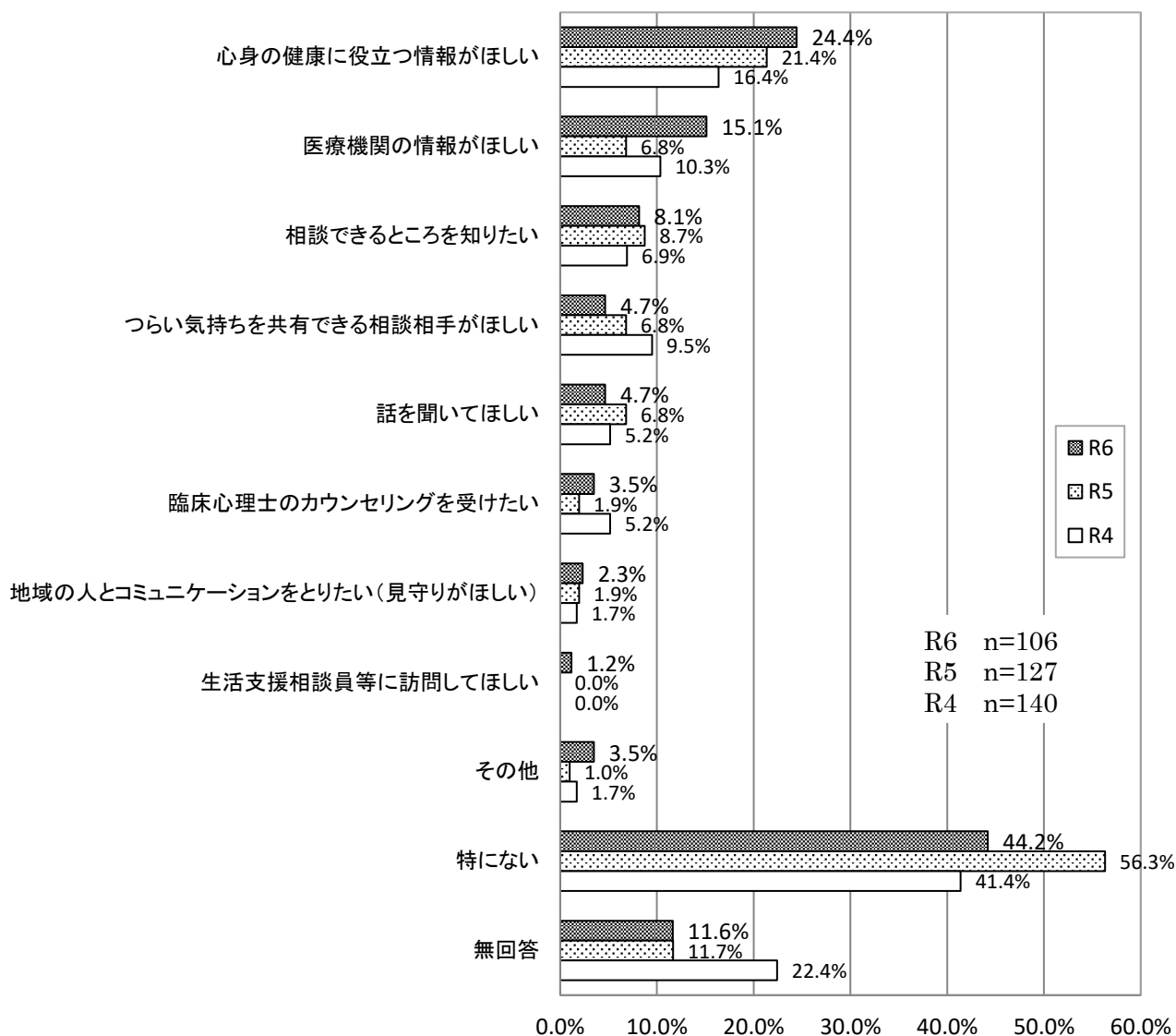


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が26.7%、次いで「よく眠れない」が20.9%、「孤独を感じる」が15.1%の順となっており、約7割*の方は心身に何らかの不調を抱えています。一方、「特にない」は最も多く、30.2%となっています。

*「特にない」と「無回答」を除いた割合

(2) 心身の健康に関する要望について

心身の健康に関して望むこと(複数回答)



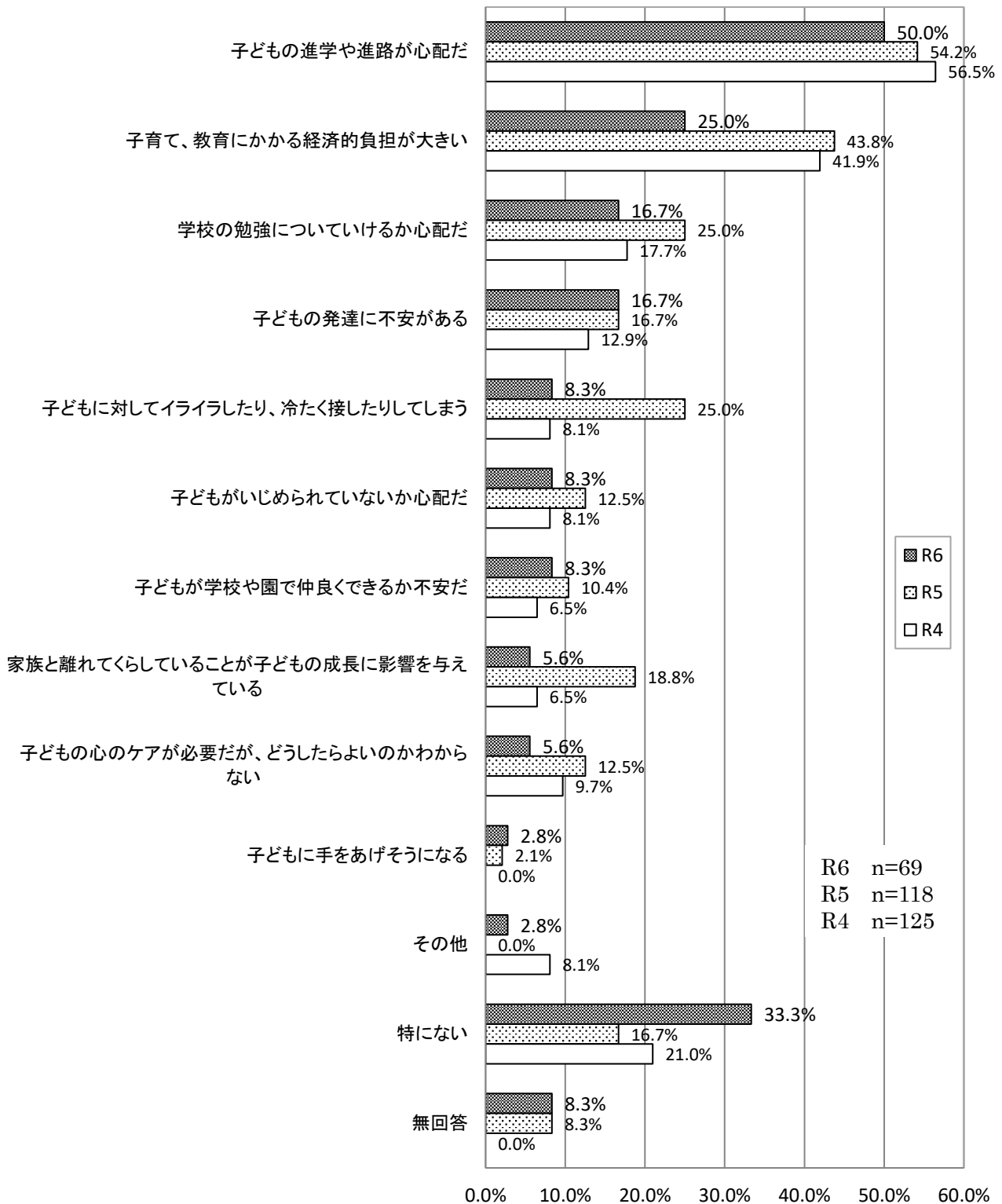
心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報がほしい」が24.4%、次いで「医療機関の情報がほしい」、「相談できる場所を知りたい」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、44.2%となっています。

5 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子どもがいる世帯の方）

（1）教育や子育てで困っていること、不安なことについて

教育や子育てで困っていること(複数回答)

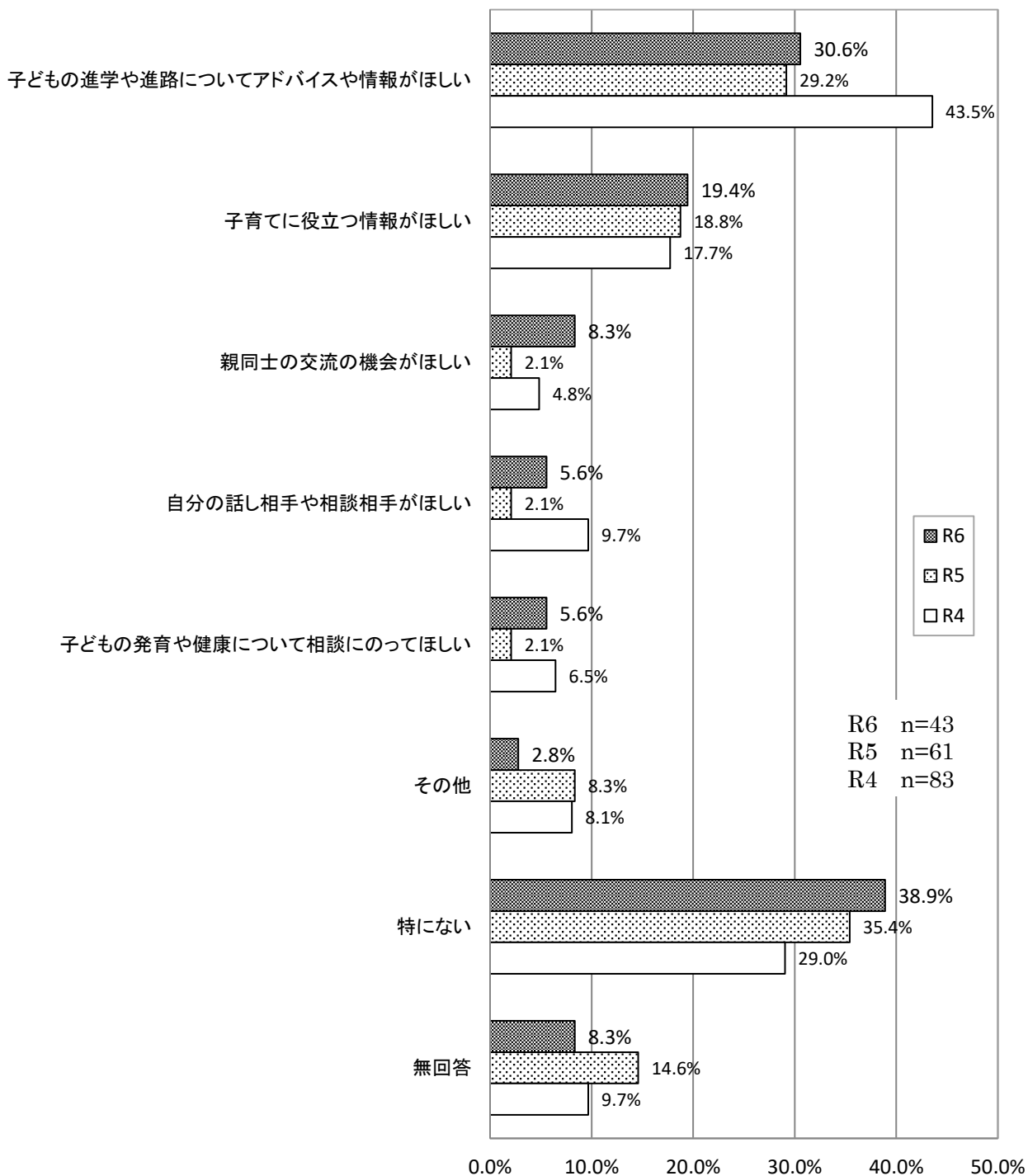


教育や子育てで困っていること、不安なことは、「子どもの進学や進路が心配だ」が50.0%で最も多く、「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」が続き、次いで「学校の勉強についていけないか心配だ」と「子どもの発達に不安がある」が同率となっています。

一方、「特にない」は33.3%となっています。

(2) 教育や子育てに関する要望について

教育や子育てに関する要望(複数回答)



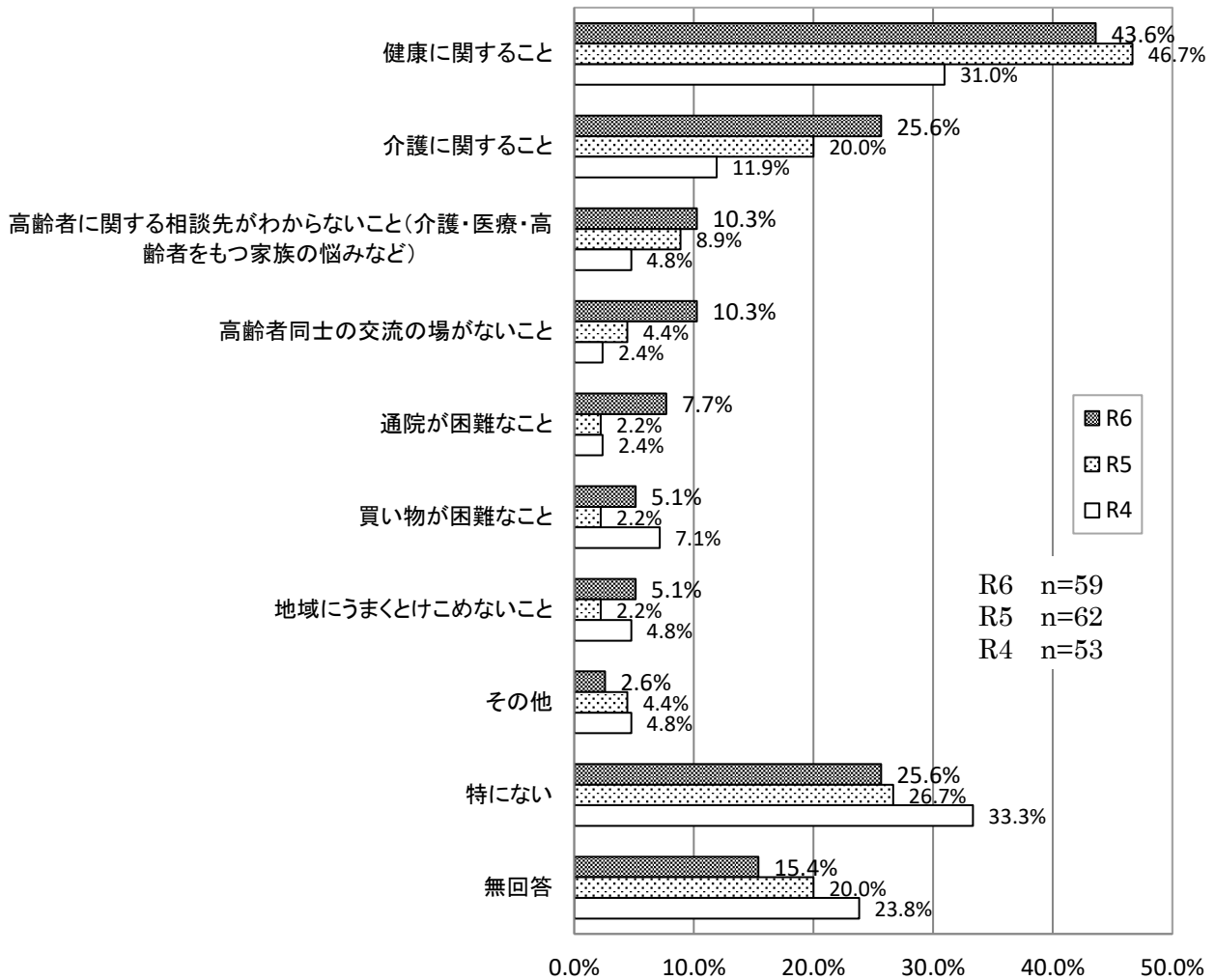
教育や子育てに関して望むことは、「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が30.6%、次いで「子育てに役立つ情報がほしい」、「親同士の交流の機会がほしい」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、38.9%となっています。

6 高齢者の生活について（設問の対象者は65歳以上の高齢者がいる世帯の方）

（1）高齢者の生活で困っていること、不安なことについて

高齢者の生活で困っていること(複数回答)

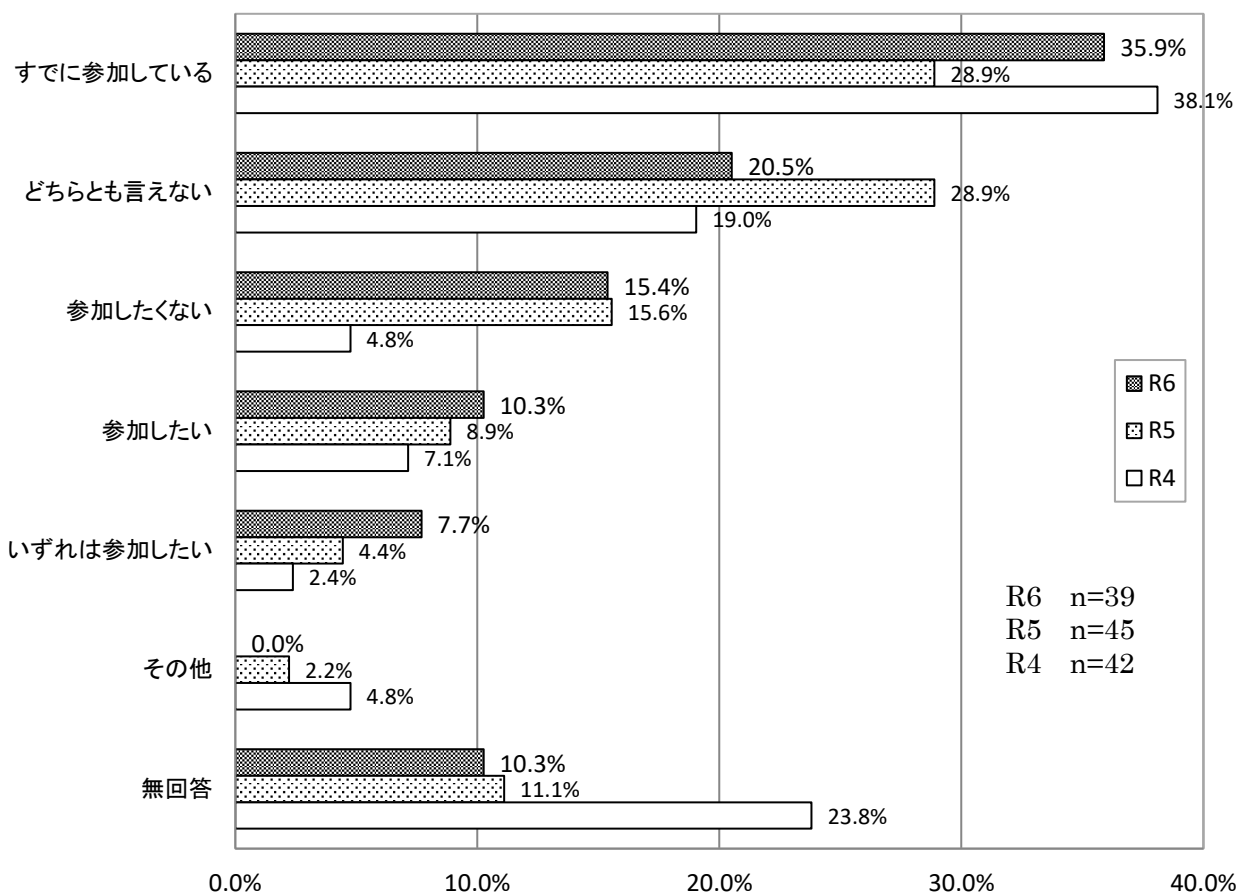


高齢者の生活で困っていること、不安なことは、「健康に関すること」が43.6%で最も多く、「介護に関すること」が25.6%で続き、次いで「高齢者に関する相談先がわからないこと」と「高齢者同士の交流の場がないこと」が同率で10.3%となっています。

一方、「特にない」は25.6%となっています。

(2) 高齢者の地域活動等への参加意欲について

地域の活動または地域の交流の場に参加してみたいと思うか

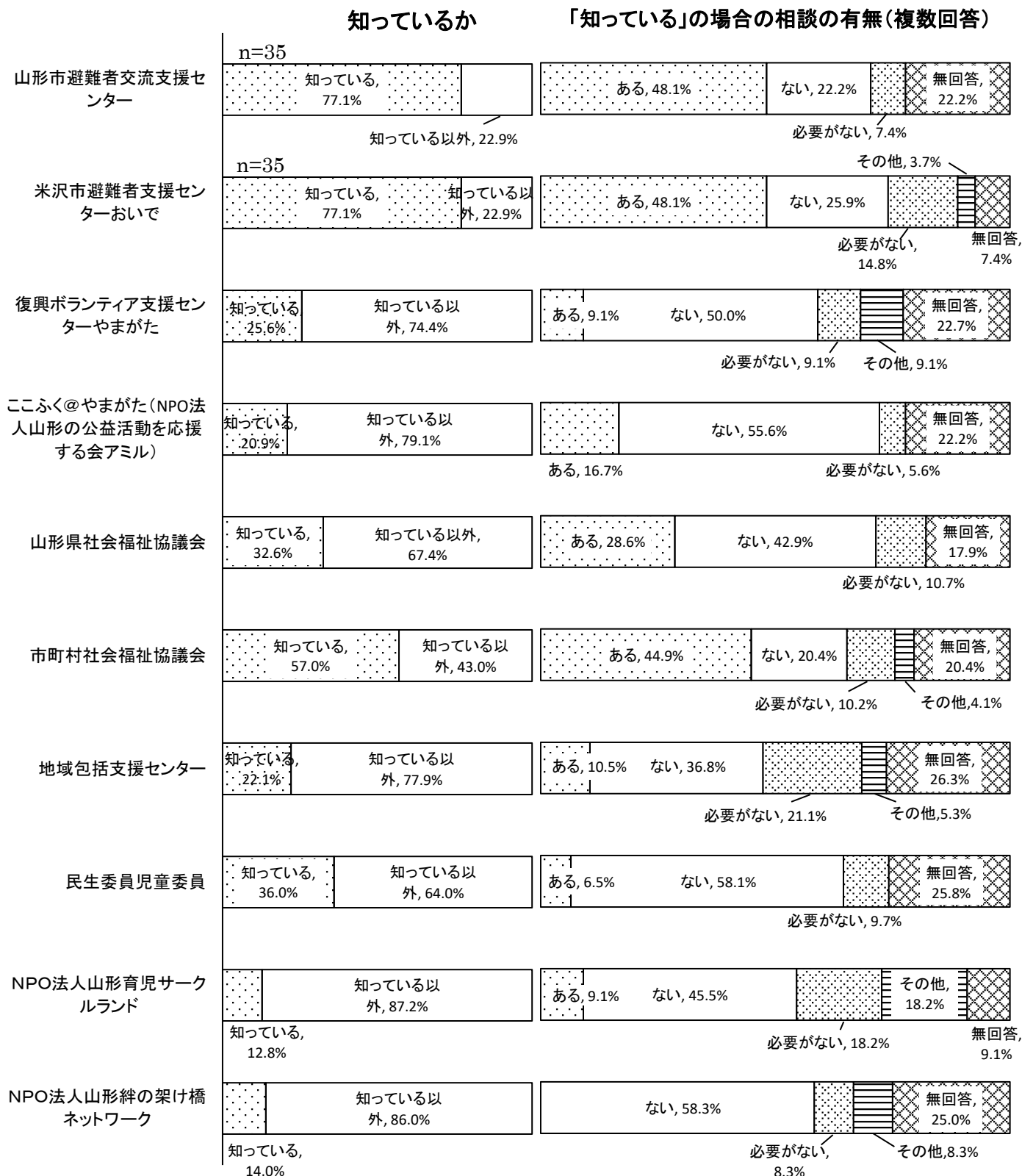


地域の活動または地域の交流の場に参加してみたいかたずねたところ、「すでに参加している」が35.9%、「参加したい」が10.3%、「いずれは参加したい」が7.7%と、約5割の方が参加意欲を持っています。

一方、「どちらとも言えない」は20.5%となっています。

7 相談支援機関と相談交流について

(1) 相談支援機関の利用状況



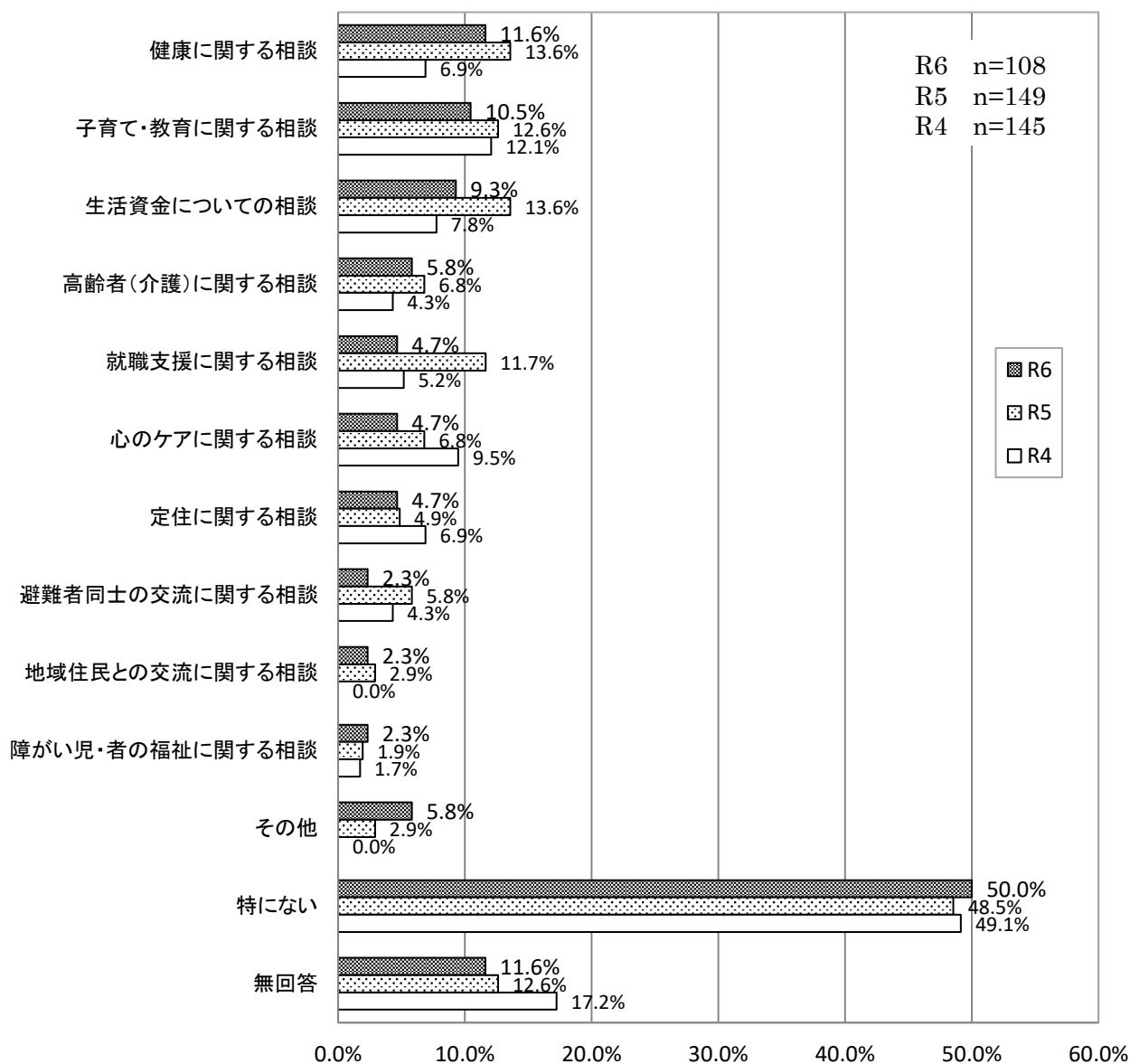
村山地域では「山形市避難者交流支援センター」を、置賜地域では「米沢市避難者支援センターおいで」を知っている方が同率で77.1%となっています。

市町村社会福祉協議会は57.0%の方が知っており、そのうち44.9%の方が相談したことがあると答えています。

※「山形市避難者交流支援センター」の母数は村山地域、「米沢市避難者支援センターおいで」の母数は置賜地域

(2) 相談支援機関への相談について

相談支援機関に対し相談したいこと(複数回答)

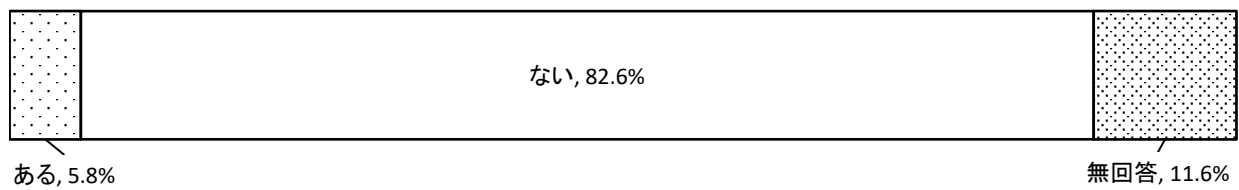


相談したいことは、「健康に関する相談」が11.6%、次いで「子育て・教育に関する相談」、「生活資金についての相談」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、50.0%となっています。

(3) 戸別訪問について

戸別訪問についての意見や要望の有無



戸別訪問についての意見や要望があると答えた方は全体の 5.8%となっています。

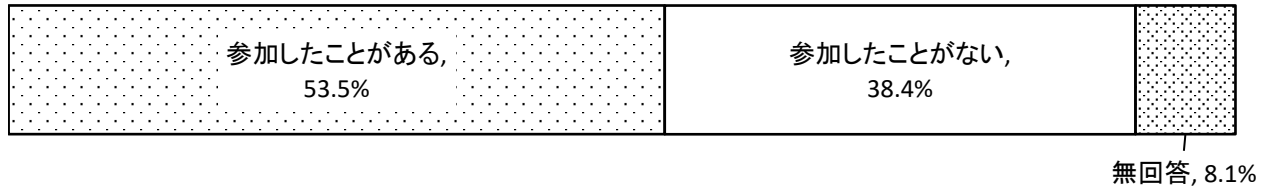
「ある」と答えた方の回答(自由記入)

- ・平日の日中の訪問なのでお会いする事がない。QR コードやメールなどで、気軽に困りごとを相談できる仕組みがあったらいいと思う。
- ・戸別訪問はありがたいが、近隣に避難者と知られてしまうため、郵送で対応してほしい。
- ・訪問していただきまことにありがとうございます。

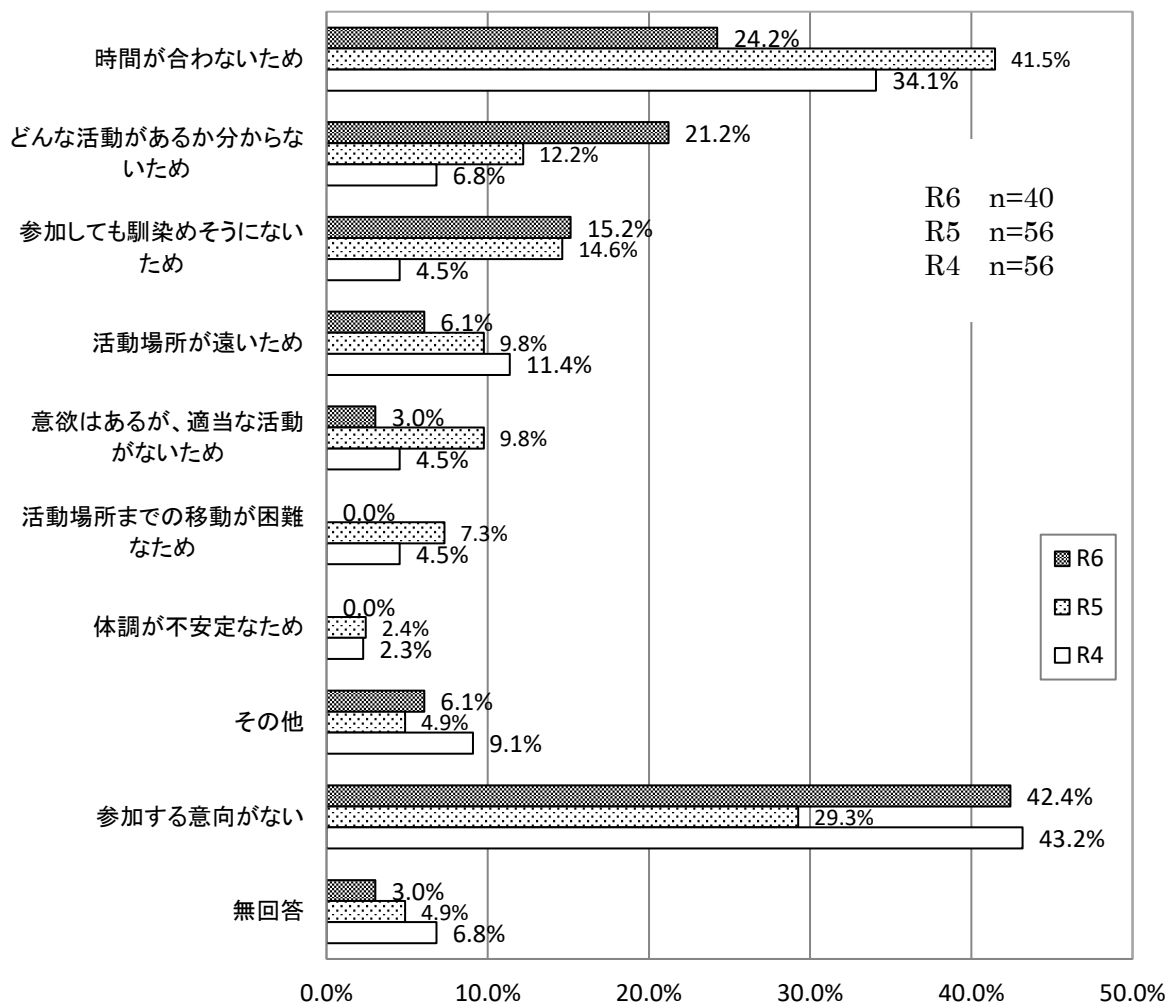
などの記載がありました。

(4) 相談交流の参加状況

相談交流会やサロンなどのイベント参加の有無



イベントに「参加したことがない」と答えた方の理由(複数回答)



相談交流会やサロンなどのイベントに「参加したことがある」方が 53.5%、「参加したことがない」方が 38.4%となっています。「参加したことがない」理由は、「時間が合わないため」が 24.2%で最も多く、次いで「どんな活動があるかわからないため」、「参加しても馴染めそうにないため」の順となっています。

一方、「参加する意向がない」は 42.4%となっています。

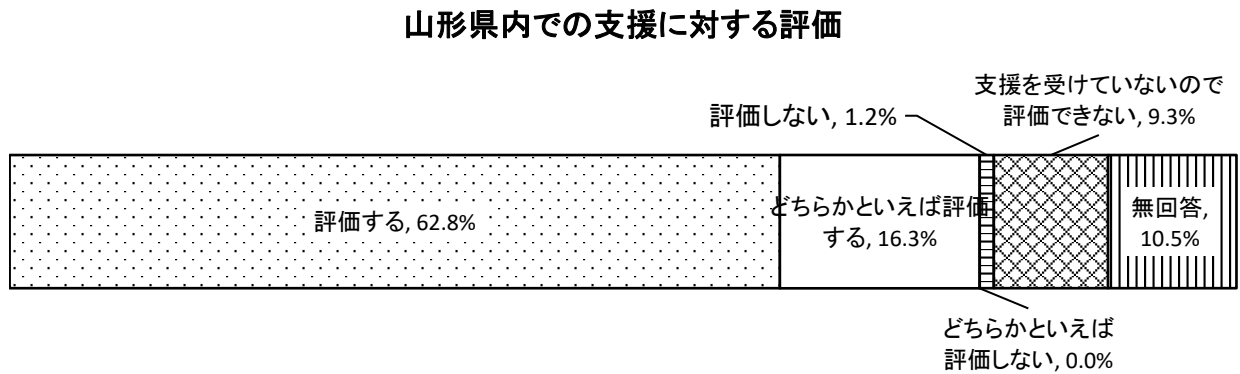
今後、参加したいイベントや相談交流の場（自由記入）

- ・週末のイベント等があれば参加したい。
- ・3.11の震災のイベント、酒田の花火大会。
- ・クリスマス会、進級式、おたのしみ会。
- ・おいしいイベント

などの記載がありました。

8 県内で行っている避難者支援事業について

(1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じているかは、「評価する」が62.8%、「どちらかといえば評価する」が16.3%と、約8割の方に評価されています。

(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について

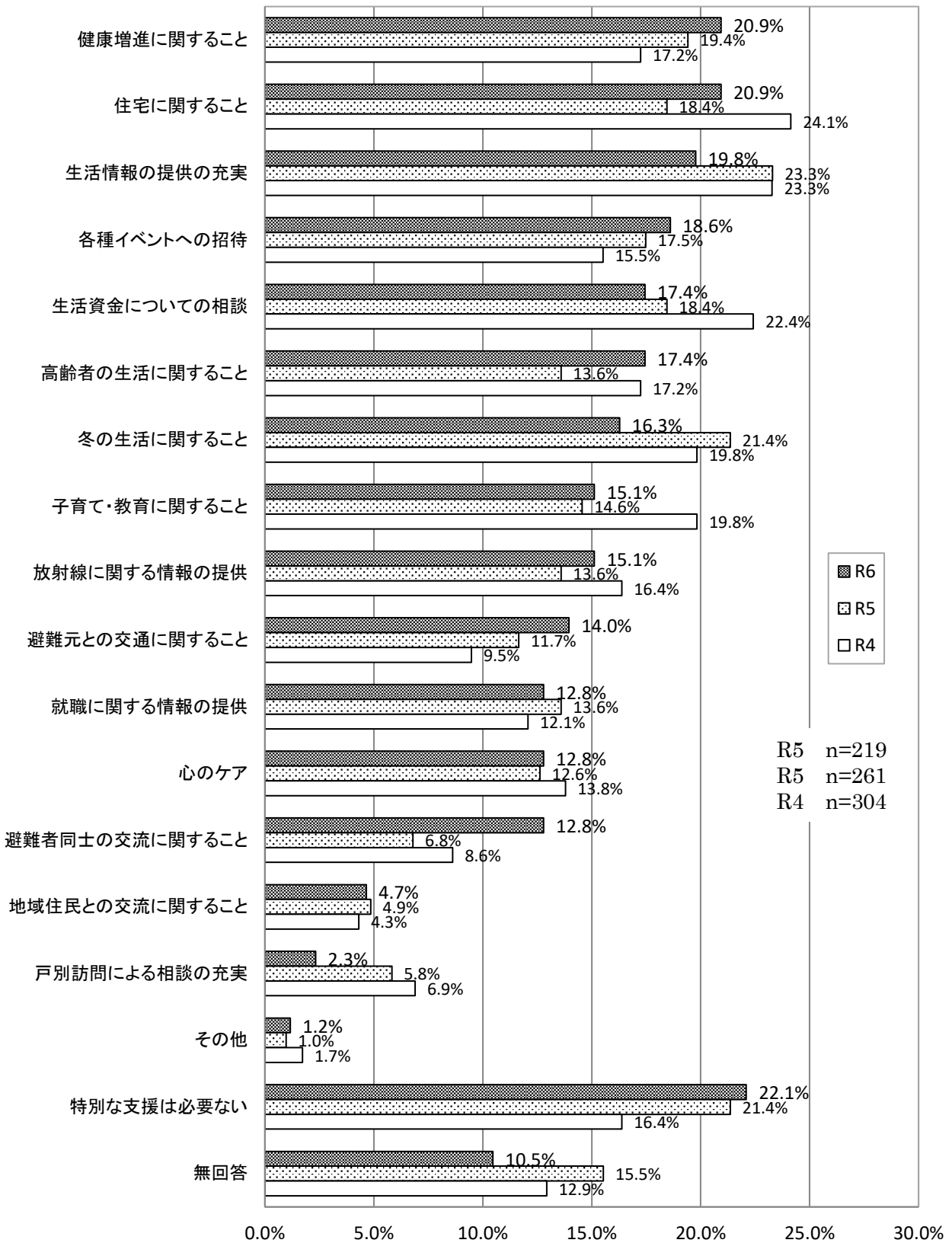


避難者支援事業別に利用状況を見ると、「生活支援相談員による訪問や相談」が52.3%と最も多く、次いで「復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供」が43.0%、「避難者交流会(サロンやお茶会など)」は41.9%の方が利用、参加されており、いずれも8割以上の方が「評価する」と答えています。

※「避難者(子育て世帯)交流会(ままカフェなど)」の母数は18歳以下の子どもがいる世帯

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「健康増進に関すること」、「住宅に関すること」が同率で20.9%、次いで「生活情報の提供の充実」、「各種イベントへの招待」の順となっています。

一方、「特別な支援は必要ない」は最も多く、22.1%となっています。

(4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

- ・平日は仕事なので、週末に避難者の方々との交流会等があると嬉しい。現在の避難者の皆さんがどんな気持ちでいるのか知りたい。
- ・安く借りられるアパートの紹介又は支援をしてほしい。
- ・他の市に避難している人達との交流。
- ・運動不足なので、自分で出来る予防体操やこりをほぐす体操などを教えてくれる先生と一緒に運動・体操をしてみたい。平日ばかりのイベントだけではなく、仕事をしている方でも参加できる時間、曜日にしてもらえると助かる。
- ・奨学金についての情報がほしい。
- ・日帰り旅行、昼食会。
- ・お米を頂いて嬉しいです。
- ・長期にわたるさまざまな支援に深く感謝しています。支援事業については多岐にわたってカバーして頂いていると思います。参加してみたいものはあるのですが、時間が合わないところが多く残念に思う事もあります。

などの記載がありました。

9 自由記入欄（抜粋）

（１）避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・子どもの進学を機に、福島県への帰還を考えるようになりました。帰還する際の支援等があれば知りたいです。
- ・若い人が働きやすい、戻りたいという魅力のある街づくりをしてほしい。（支援や補助の拡充）
- ・地元に戻っても、スーパー、店、医療が整っていない。スーパーは間に合わせか、コンビニしかなく、医療も救急は隣の市で…。不安でしかない。もし帰りたくても不便すぎて帰れない。避難先にいたほうが良いと思ってしまう。
- ・障害者職業センターを増やしてほしい。
- ・長い間、ご支援いただき心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

（２）政府に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・13年もこのような生活なので生活資金が足りない。
- ・放射能で避難してきて、電気代の高騰でまた苦しめられていること、しょうがないと思ってもなかなか納得できない。
- ・復興支援を継続してほしい。
- ・各自の判断と責任で現在に至るまで母子避難という形になっていますが、政府に対しては、引き続き高速道路無料措置の延長をお願いしていただきたいです。週末だけでも毎週一緒にいるために、お願いします。学校行事、家族の体調不良の際には、都度山形に来ることになり、やはり無料で利用できることが一番助かっています。よろしく願いいたします。
- ・だんだん気候変動と物価高になってきましたので、健康でもいられない様々な変化が起きてきました。日本がもっと良くなるようにも思う時代に考えさせられるようになりました。もっと山林を大切にしてください。
- ・県外に避難している人に対して、住宅手当（家賃等）の補助をしてほしい。特に高齢者に対して、年金だけの生活は苦しいです。年金から家賃を払い残りを生活費としています。

（３）その他、日頃から感じていることなど

- ・自分達で選んだ道ですが、原発事故がなければ、放射線などと騒がれなければ、事故直後子ども達が普通に生活出来ていれば、あのまま福島で生活していればもうすでに60代の主人は家のローンも終えて少しは楽できていたはずなのになと最近よく思います。山形での家のローンはあと14年も残っています。
- ・13年、長いような短いような月日。心身ともに確実に年を重ね、今までの不安と、これからの不安に違いが出てきた。後を振り向いてもだめ、頭ではわかっていますが…。自分で決断したことではなく、国、社会、会社、その他の人々の口で人生が変化したこと、辛いというより、虚しい。生きるとは、このようなことなのでしょう。自主避難は、自分で決断。
- ・海に汚染水を流したり、いろいろな事故が続いている。原発の話は信用できない。また、国は、原発問題はもう忘れているようですね。
- ・震災がだんだん風化されているようです。周りに話す人がいなくて、また、交流会場所も遠いため、参加出来ません。
- ・とにかく山形県の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。13年経つのに、このようなアンケートまで…本当にありがたいです。

その他、山形県、県内市町村、地域の方々の支援に対し、感謝しているとの声を多数いただきました。

2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 高齢者の生活のこと
9. 困りごとの相談相手がいないこと
10. 家族、友人など人間関係のこと
11. 山形県での冬(雪)の生活のこと
12. 放射線の影響のこと
13. 残してきた家や財産のこと
14. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
15. 避難生活の先行きが見えないこと
16. 地元との交通に関すること
17. 避難者として特別視されること
18. その他 ()
19. 特にない

問 2-2 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 高齢者の生活に関すること
6. 交流会に関すること
7. 避難元の復興状況
8. 避難元の行政情報
9. 山形県内の生活情報
10. 山形県内のイベント情報
11. その他 ()

3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい →問 3-2~3 へ
2. もうしばらく山形県で生活したい →問 3-2 以下すべての質問へ
3. 山形県に定住したい →問 3-4~5 へ
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい →問 3-2 へ
5. 今後どこで生活するか未定である →問 3-3 へ

問3-2 問3-1で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 放射線の心配がなくなるまで | 2. 避難元の住居が復旧・確保できるまで |
| 3. 借上げ住宅の提供が続く限り
子どもが独立するまで | 4. 子どもの入学、入園や卒業、卒園まで |
| 5. 子どもが独立するまで | 6. 今の就職先を定年退職するまで |
| 7. その他 () | |
| 8. わからない、未定 | |

問3-3 問3-1で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活資金のこと | 2. 仕事のこと |
| 3. 住まいのこと | 4. 自分や家族の心の健康 |
| 5. 自分や家族の身体の健康 | 6. 育児・子育てのこと |
| 7. 教育のこと | 8. 家族、友人など人間関係のこと |
| 9. 地域住民との人間関係のこと | 10. 放射線の影響のこと |
| 11. 先行きが見えないこと | |
| 12. その他 () | |
| 13. 特にない | |

問3-4 問3-1で「2. もうしばらく山形県で生活したい」「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 避難元に近いため | 2. 放射線の心配が少ないため |
| 3. 山形県が気に入ったため (内容 :) | |
| 4. 持ち家を取得したため | 5. 定住を支援する施策があったため |
| 6. 山形県での生活に慣れたため | 7. 家族の中に山形県出身者がいるため |
| 8. 親類・知人がいるため | 9. 就職したため |
| 10. 子どもが就学したため | 11. 知り合いが増えたため |
| 12. その他 () | |
| 13. 特にない | |

5 教育や子育てについて（18歳以下のお子さんがある世帯の方のみ回答してください）

問 5-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。（複数回答可）

1. 子どもの心のケアが必要だが、どうしたらよいかわからない
2. 子どもに対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
3. 子どもに手をあげそうになる
4. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
5. 家族と離れてくらしていることが子どもの成長に影響を与えている
6. 子どもが学校や園で仲良くできるか不安だ
7. 子どもがいじめられていないか心配だ
8. 学校の勉強についていけるか心配だ
9. 子どもの進学や進路が心配だ
10. 子どもの発達に不安がある
11. その他（ ）
12. 特にない

問 5-2 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報がほしい
2. 自分の話し相手や相談相手がほしい
3. 親同士の交流の機会がほしい
4. 子どもの発育や健康について相談にのってほしい
5. 子どもの進学や進路についてアドバイスや情報がほしい
6. その他（ ）
7. 特にない

6 高齢者の生活について（65歳以上の高齢者がいる世帯の方のみ回答してください）

問 6-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中に、高齢者がいる方にお聞きします。今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。（複数回答可）

1. 介護に関すること
2. 健康に関すること
3. 地域にうまくとけこめないこと
4. 高齢者同士の交流の場がないこと
5. 通院が困難なこと
6. 買い物が困難なこと
7. 高齢者に関する相談先がわからないこと（介護・医療・高齢者をもつ家族の悩みなど）
8. その他（ ）
9. 特にない

問 6-2 今後、地域の活動または地域の交流の場に、参加してみたいと思いますか。（最もあてはまるもの1つを回答）

1. 参加したい
2. いずれは参加したい
3. すでに参加している

4. どちらとも言えない 5. 参加したくない
6. その他 ()

7 相談支援機関と相談交流について

問 7-1 山形県内にはさまざまな相談支援機関があります。
次にあげる相談支援機関を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。
あてはまる箇所には○をつけてください。(複数回答可)

相談支援機関	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
山形市避難者交流支援センター					
米沢市避難者支援センターおいで					
復興ボランティア支援センターやまがた					
ここふく@やまがた (NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)					
山形県社会福祉協議会					
市町村社会福祉協議会					
地域包括支援センター					
民生委員児童委員					
NPO法人やまがた育児サークルランド					
NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク					
その他 ()					

問 7-2 避難者支援に限らず、相談支援機関に相談したいことはありますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 生活資金についての相談 | 2. 定住に関する相談 |
| 3. 就職支援に関する相談 | 4. 子育て・教育に関する相談 |
| 5. 健康に関する相談 | 6. 心のケアに関する相談 |
| 7. 高齢者(介護)に関する相談 | 8. 障がい児・者の福祉に関する相談 |
| 9. 地域住民との交流に関する相談 | 10. 避難者同士の交流に関する相談 |
| 11. その他 () | |
| 12. 特になし | |

問 7-3 山形県では、避難されている方の悩みや困りごと相談に対応するため、市町村保健師、社会福祉協議会生活支援相談員及び民生委員児童委員等の戸別訪問を実施しております。戸別訪問について、御意見や御要望はありますか。

1. ある →問 7-4 へ 2. ない

問 7-4 問 7-3 で「1. ある」と答えた方は、内容をご記入ください。

()

問 7-5 相談支援機関が実施する、地域の相談交流会やサロンなどのイベントに参加したことはありますか。

1. 参加したことがある 2. 参加したことがない →問 7-6 へ

問 7-6 問 7-5 で「2. 参加したことがない」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 意欲はあるが、適切な活動がないため 2. 活動場所が遠いため
3. 活動場所までの移動が困難なため 4. 時間が合わないため
5. 参加しても馴染めそうにないため 6. どんな活動があるか分からないため
7. 体調が不安定なため
8. その他 ()
9. 参加する意向がない

問 7-7 今後、参加したいイベントや相談交流の場などあればご記入ください。

8 県内で行っている避難者支援について

問 8-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最もあてはまるもの1つを回答）

1. 評価する
2. どちらかといえば評価する
3. どちらかといえば評価しない
4. 評価しない
5. 支援を受けていないので評価できない

問 8-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○をつけ、その評価について、右欄の該当する箇所にも○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ(避難されている皆様へ)				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（地域ごとの相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ママカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				

問 8-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 生活情報の提供の充実 | 2. 就職に関する情報の提供 |
| 3. 生活資金についての相談 | 4. 住宅に関すること |
| 5. 心のケア | 6. 健康増進に関すること |
| 7. 子育て・教育に関すること | 8. 高齢者の生活に関すること |
| 9. 戸別訪問による相談の充実 | 10. 避難者同士の交流に関すること |
| 11. 地域住民との交流に関すること | 12. 各種イベントへの招待 |
| 13. 放射線に関する情報の提供 | 14. 避難元との交通に関すること |
| 15. 冬の生活に関すること | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特別な支援は必要ない | |

問 8-4 今後実施してほしい避難者支援事業をご記入ください。

■ 自由記入欄

- ・ 避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ 政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと

- ・ その他、日頃から感じていることなど

※生活支援相談員等による訪問や連絡を希望される方は、お名前と連絡先をご記入ください。

お名前	
住所及び電話番号	住 所： 電 話：

アンケートにご協力いただきありがとうございました

発行元 山形県

山形県防災くらし安心部 防災危機管理課
復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1
電話 023-630-3100